週刊 YEAR BOOK

1967
昭和42年

日録20世紀

6|10
平成9年6月10日発行
(毎週1回発行)第1巻第16号
¥560
講談社

公害列島ニッポン!

"ミニの女王"ツイッギー来日
女の子の遊びを変えた「リカちゃん人形」誕生
南ア・バーナード博士、世界初の心臓移植

「ヒザ上三〇センチ」に日本中の目がクギ付け!
ミニの女王・ツイッギーの"来日効果"

●バスト七九、ウエスト五六、ヒップ八一センチの超スリムなツイッギー。一〇月一九日の来日記者会見では、真紅のミニで妖精ぶりを見せつけた。　オリオン・プレス

▲ミニの創案者はマリー・クワントだが、世界的な流行となったのは、昭和40年パリのデザイナー、アンドレ・クレージュがヒザ上5センチのミニを発表してからのこと。　オリオン・プレス

昭和四二年一〇月、「ミニの女王」ツイッギーが来日。世界を席巻したミニ・スカートの日本への初上陸である。女性はつつましくという声にもかかわらず、若い女性に熱狂的に迎えられ大ブームになり、新しいファッションとして定着する。このミニの流行は、花開きつつあった豊かな社会の到来を告げるものでもあった。

ミニ大流行の発火点「小枝のような」一八歳

昭和四二年一〇月一八日午後四時四五分、羽田空港に到着したスカンジナビア航空機から毛皮のコートに黒のキュロットスカート姿の少女が姿を現した。少女の本名はレスリー・ホーンビー(一八)。ミニスカートをはき、美容院の清掃係から一躍世界のトップモデルになった「ツイッギー(小枝のような)」というニックネームのシンデレラ・ガールだった。

「彼女には自由な服装で来てくれと言ってあったんですが、『ミニの女王』のはずがヒザ下丈(たけ)のキュロット姿でしょう。ローアングルで待ち構えていたカメラマンたちからは、ため息がもれましたね」

ツイッギーを日本に呼んだ東洋レーヨン(現・東レ)の当時の宣伝部長・遠入(えんにゅう)昇氏は来日の瞬間をこう語る。

だが、翌日の記者会見で「ヒザ上三〇(チセン)」のミニを初披露。以後、大阪を皮切りに全国七ヵ所で行われたファッションショーや、雑誌、新聞、テレビを通して全国の日本人が彼女のミニスカート姿にクギ付けとなった。

東京・渋谷の東急本店の新築オープン

◎表紙　手塚治虫は、戦後40年以上にわたり第一線の現役漫画家として活躍。この年、漫画雑誌「COM」を創刊した。　中央公論社提供

「ヒザ上30センチ」に日本中の目がクギ付け！ミニの女王・ツイッギーの〝来日効果〟

ツイッギー全盛の前後をいろどるトップモデルたち

グニラ・リンドブラッド

「エル・トップモデル」No.6より転載

27年間、世界的ファッション誌の「エル」（フランス版）でモデルをつとめ、表紙カバーを10回近くも飾った〝1970年代の女王〟。18歳の時、母国スウェーデンでデビュー。1968年の5月革命の最中もモード撮影を重ね確固たる地位を築く。身長178センチは、モデルの中でもかなり高い方だった。全盛期にジャーナリストのジャン・ピエール・ザシャリアゼンと結婚。1974年、レザーバッグのブランドを設立するなど、事業家として現役で活躍中。

シンディ・クロフォード

WWP

1980年から1990年にかけて〝カリスマ的〟人気を誇った、米国生まれの超トップモデル。貧しい家に育ち大学に進学するが、アルバイトで1日1000ドル稼いでいたモデルの道を本格的に選び、中退する。10年間で表紙カバーを飾ったのは400回以上。1980年代後半に化粧品会社のレブロンと交わした契約金700万ドルも、モデルとしてはまさに前代未聞。1991年には人気俳優のリチャード・ギアと結婚し、話題を振りまいたが、結局は離婚。現在は女優として映画などにも出演中。

◀今年二月の来日記者会見で、二時間五〇分の遅刻をしてみせたスーパーモデル、ナオミ・キャンベル。

▲10月21日、大阪で開かれたファッションショーに登場したツイッギー。以後ミニは、婦人服売り場を席巻する。 読売新聞社

▲昭和42年の美人コンテスト代表の脚線美。スカート丈も横一線でそろっている。パリ・コレクションが2年がかりで引き上げたミニ丈に、日本は3ヵ月で追いついた。 石井幸之助

にあわせて開催されたショーでは、人気絶頂のグループサウンズ、ザ・スパイダース（堺正章、井上順ほか）を従えて登場。一〇〇〇人の定員に、応募者が一五万人と、その人気のほどを見せつける。続いて行われた日本武道館でのファッションショーでも、「金を取って人が集まるわけがない」との常識をくつがえし、八五〇〇人の観衆を集めてみせた。

「観光に行った京都でも、報道陣の車が十五、六台追走してくるので、パトカーの先導で比叡山に登ったんですよ」（遠入氏）

時には報道陣にもみくしゃにされて泣き出す羽目にもおちいったが、日本全国をミニ一色に染め上げ、約三週間の滞在で一八〇〇万円のギャラを手にした。

広告効果も抜群だった。ツイッギーをイメージキャラクターにした森永製菓の新製品「チョコフレーク」は、空前絶後の大ヒットとなった。発売からわずか半年の間に、一箱五〇円の商品が三〇億円の売り上げを記録したのだ。

昭和三四年、〝ご成婚〟の年にイギリスのファッションデザイナー、マリー・クワントが発表したミニスカートは、すでに欧米で大流行していたが、彼女の来日でようやく日本にも「ヒザ上一五センチ」のスカート丈が定着した。

四三年には東洋レーヨンのライバル会社・帝人が「殿方に悲しいお知らせ、街からミニが消え始めます」と広告を打ったがきき目はなく、ミニブームは過熱。四四年には還暦をすぎていた首相夫人・佐藤寛子さんがヒザ上五センチのミニで渡米するなど、老いも若きもミニスカートで街に繰り出したのだった。

「日本女性はつつましく」の先入観をひっくり返す

当時、一八歳の日本人女性の平均体位は身長一五三センチ、体重五一キロ。一六八センチ、四一キロのツイッギーとはほど遠い体型だった。しかも日本女性はつつましくあるべきだという考え方も根強かった。しかし昭和三四年秋に「ザイラーの黒」、三六年冬には「セミスリーブシャツ」と数々のキャンペーンを成功させてきた腕利きの仕掛け人・遠入氏は、一人の少女を使ってその先入観をみごとにひっくり返したのだ。

筑波大学の門脇厚司教授（社会学）は、高度成長期に拍車がかかる中で、ブームの下地も醸成されていたと語る。

「所得が伸び、労働時間は短縮され、生活自体を楽しむ余裕が生まれていた。そして普及率九〇パーセントを超えたテレビが、ブームを全国的なものにしていった。都市化が進み他人の目を気にする必要もなくなった若い女性は、既存の価値観に抵抗して積極的に脚を出し始めたのです」

ツイッギーは、当時、自動車、家電業界に押され気味だった繊維業界が、息を吹き返すためのカンフル剤でもあった。

「スカート丈が短くなれば、下着から上着まですべての衣類をミニに合ったものに買い替えなければなりません。パンティストッキングが普及したのもこれがきっかけでした。ミニブームは生地や服の総需要を喚起して、繊維業界全体の底上げに大きく貢献したのです」（遠入氏）

一産業の活性化までやってのけた一八歳の少女も、もうじき五〇歳。今は平凡な主婦として暮らしている。

「雨で朝顔の花が白く脱色した」
新潟水俣病、イタイイタイ病、四日市喘息
——嗚呼、公害列島ニッポン！

▲昭和33年以降、昭和石油四日市製油所、三菱油化、三菱モンサント化成、三菱化成工業、中部電力、石原産業の6社が、四日市の旧海軍燃料廠跡を中心に立地し、ほぼ同時に操業を開始。大規模な複合大気汚染が住民に襲いかかる。 樋口健二

昭和四二年四月、激戦のすえ、初の革新都知事となった美濃部亮吉は、シンボルカラーに、抜けるような青空をイメージさせるブルーを採用し、「東京に青空を取り戻そう」というバッジやポスターが東京を埋めつくした。これは「清潔な政治」をめざすという意味とともに、環境・公害問題が選挙の一大争点であることを象徴するものだった。逆に言えば、それほどまでに当時の公害問題は、国民の怒りの的だったのである。

各地から、抗議と怨嗟の声があがる

昭和三〇年代なかばに始まる高度経済成長時代は、同時に日本中がまさに「公害列島」と化した時期でもあった。

昭和四二年四月一八日、厚生省の水俣病特別研究班は、新潟水俣病の原因が、工場廃液に含まれる有機水銀によるもの、との報告書を提出した。熊本水俣病の公式発見から一〇年余り。そして熊本大学医学部が新日本窒素肥料（現・チッソ）水俣工場の廃液の中から有機水銀化合物を検出し、原因論争に終止符を打ってから数えても、四年の歳月が流れていた。

同じく、富山県で発生した重金属（カドミウム）による公害病であるイタイイタイ病も、三井金属鉱山神岡鉱業所から神通川に流された廃液が原因とされていたが、国がこれを認めたのは四三年のことだった。当時、被害者は原因すら認めようとしない企業や政府・自治体に執拗に抗議を続けていた時期だった。

こうした中、国会では揉めに揉めた「公害対策基本法」がこの年の七月二一日に成立。あまりにも遅すぎた成立であった。しかも最大の焦点だった「企業の無過失賠償責任」については明文化されないままだった。そのため、現実に発生した大規模公害を厳しく規制し、これを刑事事件として取り締まることができず、企業責任は不問に付された。

新しいタイプの公害出現 四日市で喘息患者が激増

ここで、特筆しなければならないのは三重県の四日市公害である。四日市公害は、コンビナートによってもたらされた、新しいタイプの公害だったのである。石油精製施設、火力発電所などからなる日本初の石油化学コンビナートが四日市で本格的に稼働し始めたのは昭和三五年のこと。だが、これを境に周辺住民の生活は一変してしまった。コンビナートがもたらしたものは騒音・振動に煤煙、主として硫黄酸化物とそれに起因する喘息だった。予兆もあった。朝顔の花が、亜硫酸ガスを含んだ酸性雨に打たれ、斑点のように白く脱色されてしまうのである。

「あけても暮れても卵や玉ねぎが腐ったような臭いが漂ってました。洗濯物はすぐに煤で真っ黒に汚れてしまう。赤ん坊も飲んだ乳を吐いてしまうんです」

三〇年以上にわたって四日市公害を告発し、記録を綴り続けてきた澤井余志郎氏は、こう振り返る。

最も被害の大きかった塩浜地区では、硫黄酸化物が川崎市よりも多く、名古屋市の平均の四倍近いという調査結果も出た。子どもたちは登下校時に、黄色の公害マスクをし、校庭にいても、煤煙が襲う時には逃げまどった。教室の窓は煤煙

▲イタイイタイ病のため、発症前より身長が30センチも縮んでしまった患者。 浜口タカシ

「雨で朝顔の花が白く脱色した」新潟水俣病、イタイイタイ病、四日市喘息 ――鳴呼、公害列島ニッポン!

を防ぐため、夏でも閉ざされたままだった。四一年七月には、第一回公害病認定患者が首吊り自殺するなど、病死、自殺者の多発を招くまでになった。

ことここにいたって、喘息患者九人が、四二年九月一日、コンビナートの六社を相手どり、慰謝料、損害賠償請求(四日市公害訴訟)を提起した。この訴訟は、六社の共同不法行為の責任を問う点、大規模な大気汚染公害の損害賠償を求めている点で、わが国でも初めての裁判として注目された。四七年七月二四日、津地裁四日市支部は、「因果関係に厳密な立証は不要」と言い切り、被告企業の共同不法行為を認める画期的な判決を下した。

これまでの公害裁判は、多くが金銭による補償問題に矮小化される傾向があったが、この判決は公害の発生原因と企業の連帯責任を明らかにするもので、以後、企業は住民の意向を無視して工場の新・増設を強行することが困難となった。

公害の原因が明確になるまで、加害企業はほとんどが、最後まで加害責任を認めず、みずから悪役をかって出るかっこうになった。そのため、企業に対する不信感を根強く植えつける結果を招いた。

水俣病と四〇年近くかかわり続けてきた熊本大学医学部の原田正純助教授は、公害病の当時と現状についてこう言う。

「四〇年代は公害が各地に広がり、抗議の運動が爆発した時期でした。そして裁判や国会を舞台に糾弾が相次ぎました。その結果、企業も行政も、とても合格点ではないが、それなりの対応をとるようになってきました」

しかし、と原田助教授は続ける。

「今、目に見える公害が後退し、目に見えない公害が問題になりつつあります。つまり、局所的に急性で大量の新たな重症患者を生むことはなくなったし、今後もないでしょう。その一方で、微量の有害物質によって長期的に、影響を受け慢性疾患として現れるケースがふえつつある。言い換えれば公害が地球規模に広範に広がり始めている」と言うのである。

前出の澤井氏も「たしかに四日市の汚染は改善されました。しかし患者の苦しみは今も続いているし、公害の歴史が消し去られようとしている」と危惧するのである。

▲新潟水俣病の患者は、阿賀野川下流域に多かった。訴えられた昭和電工側は、地震で流失した農薬によるものと反論したが、昭和46年、鹿瀬工場の廃液が原因とする判決が言い渡される。 桑原史成

▶万葉集によまれた田子の浦は、後背地に広がる製紙工場の廃液と1日3000トンと言われる排出物によって、大きく変貌した。出入りする船は、ヘドロをかきわけて進まなければならない。 朝日新聞社

女たちの肖像 稲葉真弓

"思いこんだら命がけ"大作「原爆の図」のために丸木俊、美術館を設立

「原爆の図」の共同制作で知られる丸木位里(六五)・俊(五五)夫妻が、この年五月六日、私財を投じて埼玉県東松山市に「原爆の図 丸木美術館」を設立したのは、描き続けた大作の数々を集めて保存する場所がほしいと思ったからだった。すでに「原爆の図」は一一部まで制作されていたが、一部だけでも畳を横に六枚並べたほどの大画面。常時展示できる場所が不可欠だった。

二人が「原爆の図」を描き始めたのは、位里の両親のいた広島を原爆投下直後に訪れ、惨状を目のあたりにしたからであった。筆をとったのは昭和二三年のこと。互いに裸になって、目に焼きついた被爆者たちの姿を再現し模写を続けた。位里が構図を受け持ちデッサンの得意な俊が細かい部分を引き受けるという分担作業で、二年後第一部の「幽霊」が完成、上野の美術館で開かれたアンデパンダン展に出品された。当時は連合国の占領下にあったため「原爆」というタイトルにクレームがつき、「八月六日」と改題しての出展であった。この大作は反響を呼び、以後二人は次々と「原爆の図」を発表、二七年には国際平和文化賞を受賞した。

延べ九〇〇人の人物像を描きこんだ「原爆の図」一五部完成後は、「南京大虐殺の図」「アウシュビッツの図」「水俣の図」などに取り組み、平和運動のシンボル的存在として世界各国から絶賛されたが、二人の制作はどちらかというと「婦唱夫随」であったという。俊が夫を叱咤激励する形で進められ、位里自身は原爆の画家と言われるのを好まなかった。「原爆の図は俊がいなければ描かなかったと思う」と位里は後に語っているが、題材のあまりの重さに心が晴れず、燃やしてしまいたいと思うことが何度もあったという。

俊は位里の六番目の妻である。女子美術専門学校(現・女子美大)洋画部を卒業後、外交官一家の家庭教師としてモスクワに同行、その後ゴーギャンにあこがれてヤップ島に一年間滞在、帰国後まもなく位里に出会った。作品の迫力に魅せられた俊は、当時の妻と談判のうえ結婚。

▲俊は洋画家だが、位里は日本画家だった。

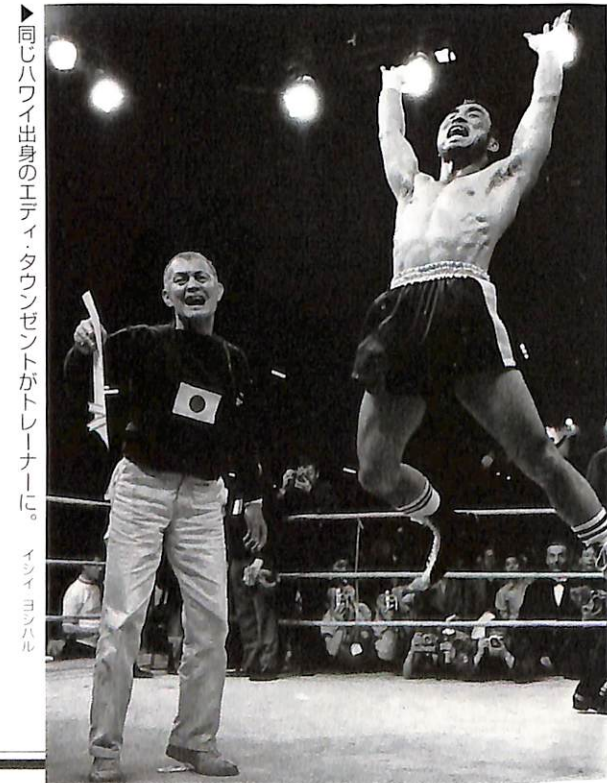
こうした"思いこんだら命がけ"の性格が「原爆の図」を完成させたとも言えるが、平成七年一〇月、位里の他界後も美術館を守り続け、朝日賞を受賞。「原爆の図」を見に訪れた人は延べ一〇〇〇万人にのぼる。

勝者・敗者 阿部珠樹

たくましいパワーと自信 "常識を打ち破った"藤猛のハンマーパンチ!

「日本人には中量級のタイトルは無理」

それが昭和四〇年代前半までの、ボクシング界の常識だった。テクニックはあっても、パワーでは外国選手に勝てないと言うのである。その常識を打ち破ったのがハワイ生まれの日系三世、藤猛(二六)だった。昭和三九年にプロ入りした藤は、翌年、早くもJ・ウエルター級の日本チャンピオンを獲得、さらに次の年には東洋タイトルも獲得して、世界への足掛かりをつかむ。

そして迎えたのがこの年四月三〇日のサンドロ・ロポポロ(イタリア)との世界J・ウエルター級タイトルマッチである。前評判は圧倒的にチャンピオンの有利。日本人にしては珍しいパワーの持ち主である藤も、チャンピオンの老獪なテクニックには歯が立たないだろうというのが大方の見方だった。

しかし、勝負はあっけなく、予想を裏切る形で決着がついた。第二ラウンド、藤のねらいすました右フックがチャンピオンの顔面に炸裂、これでダウンを奪った藤はようやく立ちあがったチャンピオンをサンドバッグのようにメッタ打ちにしてキャンバスに沈めた。

勝った藤は、試合後、リング上のインタビューで、「岡山のオバアチャン、見てる?」「勝っても、かぶっても、緒を締めろ」などと、珍妙な日本語で喜びを爆発させ、「岡山のオバアチャン」はたちまち流行語になった。

藤のボクシングは、立ちあがりから、ひたすら左右のフックを振りまわす荒っぽいスタイルだったが、ひとたびそのフックがあたると、相手は確実にダウンを奪われた。まさに必殺の「ハンマーパンチ」だったのである。

そこには、日本伝統の細かい試合の駆け引きや精密な技巧はなく、代わりにたくましいパワーが満ちあふれていた。もしかすると、藤のファイトには、戦争の痛手から立ち直り、高度経済成長を謳歌する日本人の自信のようなものが反映されていたのかもしれない。

▶同じハワイ出身のエディ・タウンゼントがトレーナーに。 イシイ ヨシハル

理化学研究所提供

▲サイクロトロン（荷電粒子加速装置）完成（1月25日）太平洋戦争中、故・仁科芳雄が完成させたが、戦後、米軍が破壊。今回は理化学研究所が再建、米仏ソに並ぶ規模となった。

朝日新聞社

▲「フォークの女神」ジョーン・バエズ（26）来日（1月11日）記者会見で「私は歌手よりも平和主義者です」と主張。13日には東京の厚生年金会館で公演、ヒット曲「ドンナ・ドンナ」などを熱唱した。

▼発射実験中の「アポロ」宇宙船が炎上（1月27日）飛行士3人が死亡。1969年（昭和44）までに月面着陸をめざしていたアメリカの宇宙計画は、大幅に遅れることになった。写真は黒焦げになったカプセル。

WWP

▶直木賞に五木寛之「蒼ざめた馬を見よ」（1月23日）選考委員の柴田錬三郎氏は「今の文壇には珍しくパンチのきいた文章」とほめた。写真は東京・新橋の第一ホテルで行われた授賞式で挨拶する五木氏。

▼「黒い霧」の一掃訴える（1月6日）県議会議員選挙を前に、水戸市で日本婦人有権者同盟の市川房枝らが演説。しかし汚職議員12人のうち8人が再選された。

共同通信社

▼直江津の長浜トンネルで落盤事故（1月20日）北陸本線複線化工事中の作業員10人が生き埋め。24日に5人が82時間ぶりに救出された（写真）。

読売新聞社

昭和42年1月

1（日）●手塚治虫編集の漫画月刊誌「COM」創刊。
2（月）●観光船「チワンギ号」三百余人乗せ晴海に入港。
3（火）●京都・淀競馬場で観衆五万八千人余の新記録。
4（水）●景気回復の電機業界、人手不足対策で主婦活用や工場の地方分散をはかると新聞に。
5（木）●前年の交通事故死傷者五〇万人突破と警察庁。
6（金）●米軍、南ベトナムのメコンデルタに初進攻。
7（土）●農産物コールドチェーン実験のキュウリ一〇トンが宮崎県細島港から東京へ出荷。
8（日）●中国で紅衛兵が劉少奇・鄧小平打倒大会開催。
9（月）●三洋電機、初の普及型カラーテレビ（一九インチで一六万三〇〇〇円）の売り出しを発表。
10（火）●経企庁、独身勤労者の消費動向調査結果を発表。衣料費が収入の二二・五％。
11（水）●フォークソングのジョーン・バエズが来日。
12（木）●日本血液銀行協会、買血の全廃を決定。
13（金）●文部省、建国記念日に関する指導徹底を通達。
14（土）●静岡県職労、前知事への餞別の募集割当は強制的と抗議（総額五〇〇万円）。
15（日）●厚生省、「赤色四号」など食用七色素を禁止。
16（月）●英「ファイナンシャル・タイムズ」紙の経済アカデミー賞先進国部門で日本が一位。
17（火）●日ソ商務協定締結交渉が妥結。日航とアエロフロートが東京―モスクワ間を共同運航へ。
18（水）●内閣で中国核実験の放射能雨対策を協議。
19（木）●佐藤首相、沖縄施政権一括返還の立場を表明。
20（金）●都教委、PTA会費の学校運営費流用を禁止。
21（土）●選挙法改正で二九日の総選挙に投票できない新成人が全国で五〇万人と判明。
22（日）●自由化された外米の売れ行き不振と新聞に。
23（月）●消防庁、四一年火災実態を発表。火災による死者は一一〇五人で戦後最多。
24（火）●共産党、文革問題で初めて中国共産党を批判。
25（水）●農村医学会の若月俊一ら、農民の健康会議で農民の四二・三％が農薬中毒と報告。
●理化学研究所、サイクロトロンを完成。
26（木）●東大医学部学生自治会、インターン制廃止など要求し無期限ストに突入（3月27日終息）。
27（金）●二七ヵ国が宇宙空間平和利用条約に調印。
28（土）●KDD、日米間の通信衛星中継業務を開始。
29（日）●大鵬、二度目の六場所連続優勝を達成。
30（月）●学費闘争の明大に初めて機動隊が導入される（2月2日値上げ承認、スト解除の調印）。
31（火）●兼松・江商、合併調印（4月兼松江商発足）。

ニュース・ファイル 1967

フォト＋日録で再現する365日

経済成長を謳歌する日本人に冷水があびせられた。米軍のベトナム戦争用燃料を運ぶタンク車が新宿駅で炎上、ベトナム特需を享受することの危うさを知らされたのである。一月の総選挙で自民党は現状を維持するが、やがて東京をはじめ各地に革新知事が誕生する。

◀米軍燃料用タンク車が炎上（8月8日）東京の国電新宿駅構内で貨物列車と衝突、機関車ほか3両に引火し爆発、燃え上がった。ベトナム戦争用燃料を運ぶ途中だったため、反戦運動に一層拍車をかけることになった。

▼**共和製糖前社長の菅貞人逮捕(2月8日)**農林中金などから30億円もの不正融資を受け、自民党政権に「黒い霧」疑惑をもたらした。3月に追及側の社会党・相沢重明議員が起訴された。

読売新聞社

毎日新聞社

▼**父母同伴入試(2月22日)**この頃からどの大学の試験会場でも、父母の姿が目立つようになった。写真は横浜市の慶大日吉校舎の試験会場で、受験生を励ます両親。

▲**初の建国記念の日(2月11日)**自民党10年来の悲願がやっと成就。全国約600ヵ所で祝賀行事が行われたが、反対集会も多かった。写真はこの日の東大教養学部前。

ジャパン・プレス・フォト

▲**米軍、ベトナム戦争で枯れ葉作戦(2月6日)**非武装地帯の森林に数十トンの枯れ葉剤を散布。ジャングルを丸裸にし、民族解放戦線部隊の発見を容易にする目的だった。枯れ葉剤は砒素を含み、後に障害児の出産が相次ぐなど深刻な影響を残した。

共同通信社

◀**羽田空港で爆破事件(2月15日)**国内線出発ロビーの男子便所で時限装置つきダイナマイトが爆発、日航社員と犯人の友人の二人が重傷を負った。犯人(22)は窃盗容疑で公判中で、自分の戸籍を抹消するため、身代わりに友人の殺害をはかったという。

朝日新聞社

昭和42年2月

1(水)●日本開発銀行、国際競争力強化の「体制金融」で日産自動車へ初の四〇億円融資を決定。
2(木)●九重親方(元横綱・千代の山)九重部屋を開く。
3(金)●国民の一日栄養摂取量は、二三五三カロで西欧の七〇㌫、と農林省発表。
4(土)●厚生省、政府初の原爆被爆者実態調査を発表。四〇年一一月の生存者は二九万八五〇〇人。
5(日)●高知市の関勉、新彗星発見(第四セキ彗星)。
6(月)●米軍、ベトナムで「枯れ葉作戦」を開始。
7(火)●トヨタ、日本初の生産累計三〇〇万台祝賀式。
8(水)●共和製糖事件で前社長・菅貞人ら七人逮捕。
●長野県松代町に松代地震センター設置。
9(木)●TBS、「現代の主役・日の丸」を放映(21日「内容が偏向」と政府非難。郵政省が調査)。
10(金)●出光など石油四社、大型タンカー受け入れ施設の京葉シーバースを設立。
11(土)●初の建国記念の日。各地で反対集会開催。
12(日)●神奈川県の参院選投票率は戦後最低の二三㌫。
13(月)●米政府、翌日からの北爆再開を発表。
14(火)●上海に革命委員会成立(4月20日北京にも)。
15(水)●羽田空港ビルで時限爆弾爆発。二人重傷。
16(木)●首都圏整備委員会、逗子・葉山など一〇区域を近郊緑地保全区域に指定。
17(金)●電子機械工業会、一月一日現在の普及率発表。テレビ九二・九㌫、ステレオ一六・一㌫。
18(土)●四日市市議会、沖合を埋め立てる第三石油コンビナート建設計画を強行可決。
19(日)●出願急増で特許庁の未処理七〇万件と新聞に。
20(月)●総合エネルギー調査会、自力での海外石油開発や原発の積極的な技術開発推進を答申。
21(火)●水質審議会、足尾銅山の鉱毒が流れる渡良瀬川の流水基準を政府に答申。
22(水)●主婦連、パンの漂白剤が危険だとして漂白パン追放運動の強力な展開を決議。
23(木)●東京都でワクチン製造用豚を食肉用に販売と判明(病菌豚事件。以後ハムなど販売激減)。
24(金)●首相、外国人労働者は受け入れないと言明。
25(土)●法務省、四一年出入国統計発表。日本人出国者数が初めて外国人入国者数を上回る。
●映画「アルジェの戦い」封切。
26(日)●原爆ドームが荒れ放題で風化が進むと新聞に。
27(月)●清酒一六社、特級六〇円など値上げを発表。
28(火)●ニューヨークで日本週間開幕。五番街の日本の城郭模型は美観をそこなうと市民に不評。

米津孝

▲**松竹のトップ女優・岩下志麻が結婚(3月3日)**新郎は9歳年上の映画監督・篠田正浩(35)で、昭和35年、岩下のデビュー作「乾いた湖」で出会って以来のつきあい。京都・大徳寺の高桐院で挙式。仲人は松竹の白井専務夫妻がつとめた。

▶**法隆寺金堂壁画の復元開始(3月1日)**昭和24年の火災で消失した12面を安田靫彦、前田青邨らが描き分ける。写真は東京国立博物館内で制作中の岩橋英遠画伯のグループ。

朝日新聞社

朝日新聞社

▲**国道1号線の鈴鹿トンネルでトラック13台全焼(3月6日)**大型車のエンジンが火を噴き、後続車に次々燃え移った。運転手5人が負傷。写真は焼けただれたトンネル。

▶**日航、世界一周線開設(3月6日)**ニューヨーク線をロンドンまで延長、南まわりヨーロッパ線と接続した。第一便が羽田を出発、東まわり、西まわりが週2便ずつ運航された。

朝日新聞社

朝日新聞社

▲**恵庭事件に無罪判決(3月29日)**昭和37年の自衛隊島松演習場通信線切断事件に対し札幌地裁が、通信線は自衛隊法で言う防衛用ではないと判断。しかし、自衛隊に関する憲法判断は示さなかった。

昭和42年3月

1(水)●万博テーマ曲「世界の国からこんにちは」を八社で発売。歌手は三波春夫、吉永小百合ら。
●沖縄船舶に「日の丸」併揚で日米が合意。
2(木)●警視庁、ダンサー一五〇人を香港に密出国させた芸能プロダクション幹部ら二人を逮捕。
3(金)●新婚旅行専用列車「ことぶき号」、宮崎へ出発。
4(土)●高見山、外国人として初の関取に昇進。
5(日)●カセットテープ対応のテープレコーダーが人気で、音響機器メーカーも発売と新聞に。
6(月)●日本航空、世界一周線の営業を開始。
7(火)●都立高で学校群制度による初の入試合格発表。
8(水)●京都府、東寺の中世古文書「百合文書」を一億三〇〇〇万円で買い上げることを決定。
9(木)●東京電力・東京瓦斯、アラスカ産液化天然ガスの長期輸入契約を米二社と締結。
10(金)●久慈市、五人目から全国初の児童手当決定。
11(土)●日立製作所、日本企業で初めて原子炉を受注。
12(日)●医師国家試験を青医連の八七㌫が受験拒否。
13(月)●閣議、四六年までの実質経済成長率を八・二㌫とする経済社会発展計画を決定。
14(火)●原爆ドーム保存募金が目標四〇〇〇万円達成。
15(水)●吹田市千里で万国博覧会会場の起工式挙行。
16(木)●山陽新幹線、赤穂市で着工式挙行。
17(金)●病菌豚事件でプリマハムに都が営業停止処分。
18(土)●警視庁、前年一二月からこの年二月までの冬山遭難者は一八九人で過去最悪と発表。
19(日)●日本車の本格的進出と注目されたジュネーブでの欧州自動車ショーが閉幕(5日〜)。
20(月)●大阪の電器小売商業界、メーカーの現金正価をやめ値引きした販売価格表示を実施。
21(火)●北ベトナム、米大統領提案の会談拒否と判明。
22(水)●横浜市にある国内唯一の水上生活者向け全寮制小学校、日本水上小学校が生徒減で閉校式。
23(木)●外資審議会、ソニーとIBMとの教育・訓練用機器の共同開発計画を認可。
24(金)●宅地審議会、財産権を制限する開発許可制度創設など、土地の合理的利用策を答申。
25(土)●沖縄戦の「ひめゆり部隊」に勲八等を叙勲。
26(日)●日本基督教団、教団の戦争責任の「告白」発表。
27(月)●東大宇宙航空研究所教授の糸川英夫、辞任。
28(火)●人間国宝に野村万蔵ら五人。狂言は初指定。
29(水)●札幌地裁、恵庭事件(37年12月)に無罪判決。
30(木)●室内で飼える小型犬の人気上昇と新聞に。
31(金)●東京駅で鉄パイプ爆弾爆発。二二人重軽傷。

共同通信社

▼**新潟水俣病の汚染源は、昭和電工の廃水（4月18日）**昭和39年に阿賀野川下流域で発生した有機水銀中毒の原因を、厚生省が断定。この年6月に患者らは損害賠償の提訴、46年に勝訴した。

▲**東京都知事に美濃部亮吉（4月16日）**前日の選挙で圧勝、首都に初めて革新の旗がひるがえった。対話重視、清潔な政治実現の訴えが都民の支持を得た。前列左から二人目が美濃部新知事。

毎日新聞社

▲**お堀端の高層ビルは認めない（4月15日）**東京海上火災保険会社が出していた、地上32階の超高層ビルの建築申請書を東京都が建築法上の判断で却下。予定地は画面右上の堀を越えた場所だった。

▼**ＬＳＴ（戦車揚陸艦）で日本人死者（4月20日）**サイゴン南東で米軍のＬＳＴに乗船中、民族解放戦線の砲撃を受け、古谷久弥さんが死亡した。日本人の戦闘中の死亡は初めて。

WWP

▲**スターリンの娘が米国に亡命（4月21日）**前月、すでにソ連を脱出、帰国の意思がないことを明らかにしていた。写真はニューヨークのケネディ空港に到着したスベトラーナ。二人の子はソ連に残った。

毎日新聞社

▼**モハメッド・アリ、徴兵拒否（4月28日）**ＷＢＡは即日、ヘビー級チャンピオンのタイトルを剝奪。後にアリは法廷闘争を続け、5年後最高裁で無罪となるが、その間ベトナム反戦の象徴的存在だった。

毎日新聞社

昭和42年4月

1（土）●脳性小児麻痺で公務員試験合格の富田尚之、労働省に出勤。重度身障者では初めて。
2（日）●住友セメントの女子従業員二六五人、この日朝まで結婚退職制反対の四八時間スト決行。
3（月）●ベ平連、米「ワシントン・ポスト」紙にベトナム反戦の全面意見広告を掲載。
4（火）●輸出額が初めて一〇〇億ドル突破と通産省報告。
5（水）●岡山大の小林教授、富山県のイタイイタイ病は三井金属神岡鉱業所の廃液が原因と発表。
6（木）●日航機内で腹切り騒ぎ、シカゴに緊急着陸。
7（金）●建設省、前年の住宅着工面積は過去最高で一戸当たり四平方メートル増。量から質へ転換と発表。
8（土）●御殿場市の富士スピードウェイで日本初の二四時間耐久レース開催。
9（日）●赤塚不二夫の「天才バカボン」連載開始。
10（月）●広島市の原爆ドーム補強工事の起工式挙行。
11（火）●東京・駒場に日本近代文学館が開館。
12（水）●初のブラジル移民（明治41年）八人が帰国。
13（木）●公取委、牛乳大幅値上げで大手乳業など検査。
14（金）●日本女子大、ダウン症児の集団治療教室開設。
15（土）●「ひかり」車内で爆破未遂事件（書籍に仕掛けた爆破装置発見。43年福島県の少年逮捕）。
16（日）●東京都知事に美濃部亮吉当選。初の革新都政。
17（月）●ポーランドのアウシュビッツ収容所跡で開催の犠牲者追悼集会に一五万人が参加。
18（火）●厚生省、新潟水俣病の原因は昭和電工鹿瀬工場の廃液と断定。
●寺山修司主宰の「天井桟敷」が旗揚げ公演。
19（水）●大阪地裁、女性は結婚後は無収入とみなし、交通事故死の賠償計算は二五歳までと新判断。
20（木）●サントリー、初の瓶詰生ビール「純生」発売。
21（金）●ユトレヒトでの世界卓球選手権閉幕（11日〜）。日本は七種目中六種目に優勝。
22（土）●大阪造幣局の夜桜見物に二〇万人が詰めかけ将棋倒し事故。一人死亡、二八人重軽傷。
23（日）●川崎の婚約者向け「婚前学級」が好評と新聞に。
24（月）●ソ連の宇宙船「ソユーズ一号」乗員が墜落死。
25（火）●三浦雄一郎、富士山頂からスキーで滑降。
26（水）●ネパール皇太子、東大留学のため来日。
27（木）●自動車工業会、四一年度の輸出は二十八万余台で前年度比三九・七%の激増と発表。
28（金）●女性小学校教員が初めて過半数と都教委発表。
29（土）●原研東海研究所の高速増殖炉実験装置が臨界。
30（日）●藤猛、世界J・ウエルター級のタイトル獲得。

証言・あの日この日

五木寛之（34）

1月10日（火）〈ズビグニエフ・チブルスキー死す。急行列車に飛び乗りそこねてホームに転倒。「灰とダイヤモンド」のサングラス・スタイルの印象がはっきり残っている。文化大革命、新段階へ。……夕方、講談社、宮本氏より本の件にてＴＥＬあり。……直木賞候補作品に「蒼ざめた馬を見よ」が決まった由〉（五木寛之『日記』）

前年６月、「さらば、モスクワ愚連隊」で小説現代新人賞を受賞した五木寛之は、金沢でのんびりした正月をすごしている。１日、２日、４日はバッティングセンターに行き、３日、５日はテレビでファイティング原田や藤猛のボクシングを見る。そういう生活も同23日、直木賞受賞とともに一変する。原稿やテレビの出演依頼が殺到。五木は同じ頃作家デビューした野坂昭如とともに中間小説雑誌ブームの原動力となっていく。（坪内祐三）

朝日新聞社

▲**ペリリュー島で遺骨収集（5月16日）**日本兵1万人が戦死した南太平洋の小島に政府派遣団が出発し、6月6日、約1300体の遺骨とともに帰国。写真は5月29日、旧日本軍司令部跡での追悼式。焼香するのは西村団長。

▼**法大・田淵幸一（20）、本塁打通算10本の新記録（5月22日）**神宮球場で行われた東京六大学野球の対慶大戦で一気に2本を放ち、立大の長嶋と慶大の広野が持っていた8本の記録を破った。田淵は翌年、記録を22本に伸ばした。

時事通信社

▼**チチェスター、ヨットで単独世界一周（5月28日）**この日、母国イギリスのプリマス港に帰還。全長16メートルのヨットで前年8月27日の出帆以来、227日間の大航海に耐えた。この快挙にエリザベス女王は〝サー〟の称号を贈った。

WWP

▼**米ソ駆逐艦が接触事故（5月10日）**4日から日米対潜共同演習が行われていた日本海で、この日、米艦「ウォーカー」と警戒中のソ連のコトリン型駆逐艦（写真）が接触、翌日にも同様の事故が起き、米国防省はソ連に厳重な抗議を行った。

共同通信社

昭和42年5月

1（月）●国税庁、所得上位者公示。一位は三年連続で上原正吉大正製薬社長の六億円余。
2（火）●日本初の商業用原発、敦賀原発の起工式。
3（水）●丙午が開け結婚式増加、巫女が不足と新聞に。
4（木）●文部省、幼稚園のない市町村は約半数と発表。
5（金）●ベ平連、反戦広告の街頭募金を那覇市で開始。
6（土）●丸木位里・俊の「原爆の図丸木美術館」開館。
7（日）●都市部にある製紙工場が、公害対策のため地方の沿海地区への移転が目立つと新聞に。
8（月）●私学振興調査会総会、国庫補助要求を決める。
9（火）●全国漁民大会、海水汚濁防止を国会に陳情。
10（水）●国土地理院が軍用地図を米軍に売却と判明。
11（木）●引揚者団体連が「六千億補償要求」二万人集会。
12（金）●市川房枝、佐藤派八議員の政治資金申告漏れを指摘し、佐藤首相を追及。
13（土）●経企庁、新産指定都市の現状を地価高騰、公害発生、人口伸び悩みと問題点指摘。
14（日）●沖縄・宜野湾市で暴力団が銃乱射。七人死傷。
15（月）●ガットのケネディ・ラウンド（関税一括引き下げ交渉）、米・英・日などが合意。
16（火）●政府派遣のペリリュー島遺骨収集団、出発。
17（水）●科技庁、日本初の「首振り式ロケット・エンジン」の公開実験を三菱重工長崎造船所で実施。
18（木）●警視庁の夜間白バイ隊「月光部隊」が初出動。
19（金）●文部省、日本の大学・研究機関への米陸軍の援助資料を公表。総額三億八七〇〇万円。
20（土）●北海道余市町の漁民二〇〇人が漁場に近い敦賀市に集団移住を申し入れ、同市も合意。
21（日）●農林省、豚肉価格の引き下げ決定、と新聞に。
22（月）●田淵幸一、一〇本塁打の六大学野球新記録。
23（火）●宮内庁、成田市の御料牧場での最後の観緑会。
24（水）●最高裁、生活保護基準の違憲性を争った「朝日訴訟」を、原告死亡により終了と判決。
25（木）●最高裁、雅樹ちゃん事件（35年5月）の本山茂久被告の上告を棄却、死刑が確定。
26（金）●三派と革マル全学連が反砂川基地集会で乱闘。
27（土）●全日空、旅客機に飛行記録装置取り付け完了。
28（日）●砂川の米軍立川基地拡張予定地で一一年ぶり三つの反対集会開催。三万二〇〇〇人参加。
29（月）●前年度のタバコ消費は一八三五億本と公社。
30（火）●東洋工業、日本初のロータリーエンジン搭載車「マツダ　コスモスポーツ」発売。
31（水）●公取委、果汁のない「レモン飲料」不当表示でポッカレモンなど六社に排除命令。

20世紀博物館

ボタンの博物館

美術工芸の粋をきわめた名品に"お洒落心"をさそわれる

東京・中央区

桑原茂夫

東京の隅田川沿いにある、株式会社アイリス本社の四階に、広さ三七〇平方メートルの瀟洒なボタンの博物館がある。アイリスは、日本のボタンの四分の一強を生産・販売するボタンのトップメーカー。ちなみにメガネのアイリスとはまったく関係がない。

このアイリスの会長・大隅浩さんが、ボタン作りの資料を求めて世界中をまわったのがきっかけ。各地の路地裏の骨董屋などでこつこつと集めた手作りボタンを中心に約一七〇〇点が展示されている。昭和六三年に開館した当時は世界で唯一のボタンの博物館だったが、アメリカやドイツで、この博物館の後を追うように開設されているそうだ。

この博物館に展示されているボタンは、さすがにプロの目にとまったものだけあって、どれも、強烈に自己の存在を主張している。

ボタンというと、服の付属品として、その機能面だけに注意が向けられがちだが、どうしてどうして、この小さな"付属品"はけっしてそれだけにとどまることなく、ミニチュアの美術工芸品として、その存在を際立たせることもあるのだ。

▶細かいガラスをはめこんで作られたモザイクボタン。ヨーロッパ・一九世紀のもの。

▼日本刀の鍔を作っていた職人が力をこめて作った、繊細さを誇る彫金ボタン。海外でコレクションしたもの。

平野美津子

▲イギリスのハンティング・クラブのステータスシンボルとなったピクチャーボタン。

たとえば、一八～一九世紀にヨーロッパで流行した"ピクチャーボタン"は、ボタンのひとつひとつに細密画が描かれており、それ自体立派な美術工芸品であると同時に、時には、ステータスシンボルとして位置づけられることもあった。一九世紀イギリスのハンティング・クラブのボタンに描きこまれたクラブのシンボルは、それを身につける人の、アイデンティティを明らかに示すものだった。これは、中学校や高校の制服のボタンを思い起こすとわかりやすい。ボタンにはそんな意義を付与されることもある。

さて、ミニチュア美術工芸品となると、日本人が登場しないはずがないのであって、ここにも"サツマボタン"と称するボタンが展示されている。一八七〇年代に、ヨーロッパのコレクター向けに作られたものだという。絵柄は日本髪を結った女性などで、日本情緒を表に出している。

また、"彫金ボタン"と分類されているものもあって、これは赤銅(銅と金の合金)や四分一(銅に二五%の銀を混ぜた合金)を素材にした浮き彫りで、その繊細な仕上がりはみごとなものだ。これも一八八〇年代からのものらしいが、日本刀の鍔を作っていた職人が、仕事がなくなったため作ったものと伝えられている。まさに職人芸であり、存亡が危ぶまれた時代の、力のこもった作品に思える。

こんなふうに見てくると、もっとボタンに気を配ってもいいじゃないか、という気がしてくる。ボタンに自己主張させて、さり気なく全体の印象を変えることもできるはずだ。

どうです、そんなお洒落は?

▲全体が洒落た空間で、ボタンがたんなる付属品ではないことを感じさせる。

●ボタンの博物館

東京都中央区日本橋浜町一―一一―八
㈱アイリス本社四階
☎〇三―三八六四―六五三七
地下鉄都営新宿線浜町駅下車、徒歩五分
開館時間＝一〇時～一二時、一三時～一七時
（電話予約制）
休館日＝土・日曜日、祝日
入場料＝三〇〇円、一〇名以上の団体二〇〇円

▲イスラエル、電撃的勝利(6月10日)ナセル大統領を中心とするアラブ諸国が大敗。この第3次中東戦争に勝利をもたらした国防相ダヤン(50、右端)は一躍国民的英雄となった。

WWP

新華社・中国通信

▲中国、初の水爆実験(6月17日)北京放送が成功を報じると、市民がドラや太鼓で祝った。これで中国は米ソ英に次ぐ4番目の水爆保有国。実験の写真は10月1日に公表された。

▼観覧車に宙吊り(6月18日)神戸市の遊園地で、七、八歳の女児が、動いているゴンドラをつかんだまま5メートルほど上に運ばれた。係員がスイッチを切り、無事救出した。

朝日新聞社

▲富士山の大沢崩れ、対策懇談会開く(6月17日)山頂近くで毎秒0.3トンの割合で土砂が崩落、その抜本的対策を講じるため建設省が設けた諮問機関で、専門家を中心に月1回の会合を持った。

朝日新聞社

▼山陽電鉄の電車に時限爆弾(6月18日)下り姫路行き電車が神戸市垂水区の塩屋駅に停車した直後、網棚に置かれていた荷物が爆発、二人が死亡、29人が重軽傷を負った。

朝日新聞社

昭和42年6月

- 1(木) ●犬山市に京大霊長類研究所が発足。
- 2(金) ●大阪あいりん地区で無銭飲食をきっかけに二千余人が乱闘(5日府警は四五〇〇人動員)。
- 3(土) ●警視庁、畜産振興事業団汚職事件で家宅捜索。
- 4(日) ●四日市市で治療中初の公害病患者が死亡。
- 5(月) ●アラブ諸国とイスラエルが交戦(7日イスラエルがシナイ半島制圧。第三次中東戦争)。
- 6(火) ●閣議、資本取り引き自由化の基本方針決定。
- 7(水) ●女性小中教員の三一%は泳げずと文部省調査。
- 8(木) ●ナセル大統領、停戦受諾で辞意(10日撤回)。
- 9(金) ●首相、憲法擁護都民連合の国会周辺デモを許可した東京地裁に異議(10日許可取り消し)。
- 10(土) ●東京教育大、筑波研究学園都市への移転決定(14日学生は抗議のスト突入)。
- 11(日) ●苗代作業の農民に奇病発生と鴻巣市が報告。
- 12(月) ●新潟水俣病の患者ら、昭和電工に賠償請求。
- 13(火) ●農林省、豚肉二〇〇〇トンを卸値で放出と発表。
- 14(水) ●イタイイタイ病対策協議会、三井金属に遺族補償と治療費全額負担を要望。
- 15(木) ●沼田義明、世界J・ライト級のタイトル獲得。
- 16(金) ●法大・中大など関東大学ラグビーリーグ結成。
- 17(土) ●中国、水爆実験に成功。四番目の保有国に。
- 18(日) ●神戸市の山陽電鉄塩屋駅で、車内の網棚の時限爆弾爆発。二人死亡、二九人重軽傷。
- 19(月) ●田植え労賃が一〇%以上上昇と農林省報告。
- 20(火) ●東京・港区教委、肥満児用栄養改善講座を開く。
- 21(水) ●京大花山天文台、都市化が進み観測困難のため飛騨地方に主要部を移転、と新聞に。
- 22(木) ●ハバロフスクの軍事法廷、前年逮捕の日本人会社員にスパイ容疑で自由剥奪八年の判決。
- 23(金) ●家永三郎、四三年度高校日本史教科書の検定不合格処分取り消し請求を東京地裁に提訴。
- 24(土) ●兵庫県教委、夏休みの宿題全廃を決定。
- 25(日) ●米グラスボロで開催の米ソ首脳会談、大戦回避で合意するが、中東問題では物別れ。
- 26(月) ●NHK、世界同時中継番組「われらの世界」放映。一四ヵ国が参加し、二四ヵ国で受信。
  ●日本ラーメン工業会、値引き乱売自粛を表明。
- 27(火) ●『国民生活白書』。中流階級化と都市化を指摘。
- 28(水) ●農林省、農薬パラチオンなど全面禁止と決定。
- 29(木) ●京大で自衛官の大学院入学反対の全学スト。
  ●埼玉県の調査で、朝食抜きで登校し保健室を訪れる小学生がふえている、と新聞に。
- 30(金) ●警視庁婦人警官の盛夏略服がミニスカートに。

ベストセラー

『頭の体操』『英単語記憶術』頭のリフレッシュに最適の

この年の話題の本は多湖輝の『頭の体操』（光文社）だ。前年暮れに刊行されるや、たちまちベストセラー街道まっしぐら、この年のうちに、なんと第四集まで出て、これがことごとく売れた。今でも売れ続けている、ロングセラー・シリーズとなった。

冒頭で「最近、若い人たちの間で、脳動脈硬化症なる病気が蔓延している」と喝破し、「常識や固定観念の枠を破っていく独創力」が必要だとしたこの本の趣旨が、競争社会で生きていかなければならない多くの人の共感を得たのかもしれない。しかも、要するにパズルを楽しめばいいのだから、仕事に疲れた頭のリフレッシュにはもってこいだった。

タイトルも秀逸で、三年前の東京オリンピックで日本勢が活躍した「体操」の強烈な印象も手伝って、忙しい日々に柔軟性を失ってきたと実感する面々にはピッタリくるタイトルだったようだ。

同じカッパブックスで、『英単語記憶術』もよく売れたが、これは昭和三六年の大ベストセラー『英語に強くなる本』の著者・岩田一男が、単語を語源などからグループ分けして、理解しておぼえるという方法を提示したもの。記憶術というより、英単語を楽しむ趣があった。

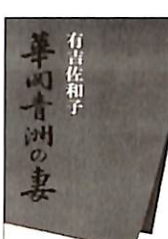
小説では、この年映画にもなった、有吉佐和子の『華岡青洲の妻』が売れた。美しく聡明な嫁と姑の、表面には見えない確執を描いた物語なのだが、外科医として先駆的な業績を残した華岡青洲その人の物語としても面白い。小姑にあたる女性が、嫁と姑の争いにきづきながら、知らん振りで通してしまう男（華岡青洲）はもっとすごいと述懐しているのが、この物語の深さを語っているようだ。

●昭和42年のベストセラー

順位	書名（著者／出版社）
1位	『頭の体操(1)』(多湖輝／光文社)
2位	『人間革命(3)』(池田大作／聖教新聞社)
3位	『頭の体操(2)』(多湖輝／光文社)
4位	『華岡青洲の妻』(有吉佐和子／新潮社)
5位	『英単語記憶術』(岩田一男／光文社)
6位	『頭の体操(3)』(多湖輝／光文社)
7位	『姓名判断』(野末陳平／光文社)
8位	『捨てて勝つ』(御木徳近／大泉書店)
9位	『徳川の夫人たち』(吉屋信子／朝日新聞社)
10位	『道をひらく』(松下幸之助／実業之日本社)

全国出版協会出版科学研究所

▲『頭の体操(1)』(250円)

▲『英単語記憶術』(300円)

▲『華岡青洲の妻』(350円)

スターと名場面

「日本のいちばん長い日」と「肉弾」に見る"名分と現実"

終戦から二十年余を経て作られた、終戦秘話「日本のいちばん長い日」（監督・岡本喜八）は、東宝創立三五周年記念のオールスターキャスト作品。

ポツダム宣言受諾の是非をめぐって、政府と軍部が激しく対立、結局は無条件降伏の玉音放送にいたる過程を、閣僚会議、御前会議を軸にしながら、リアルに描き出し、太平洋戦争の一側面を浮き彫りにした。この映画の主役は、三船敏郎が演じた阿南惟幾陸軍大臣ということになるのだろうが、岡本監督は翌年、これとまったく対照的な、無名の男の終戦の日を撮って（「肉弾」）、戦争の大義名分と現実との落差を明らかにしてみせた。

同じ時期に大島渚監督は、性の根源に迫る映画「日本春歌考」を撮って新しい分野への意欲を見せた。

ほかには次のような映画が話題になった。かっこ内はおもな出演者。

「上意討ち」（三船敏郎）／「華岡青洲の妻」（市川雷蔵）／「胎児が密猟する時」（志麻はるみ）／「人間蒸発」（露口茂）／「アルジェの戦い」（ジャン・マルタン）／「気狂いピエロ」（J・P・ベルモンド）

また、芝居の方で唐十郎率いる「状況劇場」が、新宿・花園神社などで、紅テントを劇場としたラジカルな興行を打って、演劇界に新風を吹きこんだ。

東宝提供

▲「日本のいちばん長い日」で、敗戦を認めない若い将校を演じた黒沢年男(中央)。

▼新宿・花園神社でテント興行を打った唐十郎(右)と李礼仙。昭和42年夏の二人。

松竹提供

▲「日本春歌考」で春歌を歌うなどして熱演した吉田日出子(中央)。

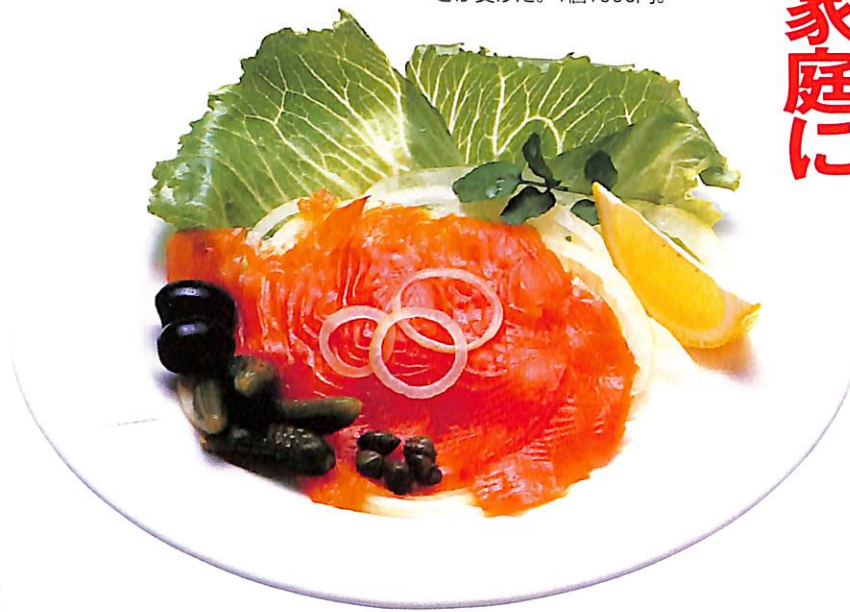
モノ語り'67

「スモークサーモン」を肴に「純生」を一杯！"豊かさ"実感商品が家庭に

◀**洋風化の波が調味料にも**　食生活の洋風化が進み、野菜も、それまで主流だった煮野菜に代わり、野菜サラダが食卓をにぎわすようになった。中埜酢店が発売した「ミツカン・フレンチ」「ミツカン・トマト」はそんな時代の流れを先取りした商品で、野菜サラダだけでなくいろいろな料理に使えるドレッシングとして重宝がられた。

▲**ロータリーエンジン搭載の自動車ついに登場**　世界自動車史上初の、小型軽量・高出力のロータリーエンジンを搭載した、画期的な乗用車「マツダコスモスポーツ」が東洋工業（現・マツダ）から5月に148万円で発売された。トップギアで時速25キロから加速できる（最高速度185キロ）フレキシブル稼働のロータリーエンジンと、低く流れるようにシャープなボディーラインなど、いろいろな面から理想的なツーリングスポーツカーだった。

◀**宇宙時代のダイナミックな玩具**　人類が宇宙遊泳に成功した時代にふさわしい宇宙船玩具、「マジックスカイレール」がトミーから発売され人気を呼んだ。くねくねと曲がったプラスチック製のレールの上を、宇宙船が垂直に上下したり、逆さま状態でも落ちないで動いていく面白さが受けた。1個1000円。

▲**「純生」ビールで品質アップ**　これまでのラガーやドラフトが、熱処理を加えていたのに対し、加熱処理を必要としない「純生」が、サントリーから大瓶（633ミリリットル）120円で発売された。樽生ビールの微妙な風味、つまり"ビール本来の味"をうたっただけあって、ラベルには"家庭の冷蔵庫で2〜3時間、8〜10度に冷やす"と、おいしく飲むための目安が記されていた。

▲**酒の肴に贅沢な味**　ソフト燻製の高級食品「スモークサーモン」が、北海道サーモン（現・王子サーモン）から発売された。もともとは、王子製紙が自社からの贈答用に、野趣ある郷土名産品をと開発に取り組んだもので、4年間かけて開発に成功。王子製紙の一事業部門から、スモークサーモンの製造・販売会社を設立、一般に向けて販売を開始した。当時はまだ珍しい食品だったため、煮たり焼いたりして食べた家庭も少なからずあったという。

◀**インクの減り具合が見えたボールペン**　「みえる・みえる」のキャッチフレーズで売り出し、今や定番となった透明軸ボールペン「クリスタル S-4100」が、ゼブラから1本40円で発売された。軸が透明なボールペンは以前からあったが、インクの減り加減まではわからなかった。これを、粘着性の少ない特殊なインクを使用することでクリア、インクのボタ落ちも防いだ。インクの色は黒・赤・緑・青の4色があった。

◀**シャワートイレでお尻を清潔に**　温水清浄便器を輸入販売していた伊奈製陶（現・イナックス）が、初の国産シャワートイレ「サニタリイナ61」を発売した。お尻を「洗う」ことへの抵抗感と、価格の高さ（1台28万円）が影響して、初めのうちは売れ行きもかんばしくなかったが、清潔志向が高まるとともに次第に普及していった。

人物クローズアップ

寺山修司（三一）

劇団「天井桟敷」を旗揚げ アングラ劇の屋台骨を担う

人力飛行機舎提供

▲「天井桟敷」設立の際の公演ポスター。宣伝美術は横尾忠則。

昭和四二年四月一八日、東京・青山の草月ホールは異様な熱気に包まれていた。作家として、また映画やテレビの脚本家としてもすでに活躍中の寺山修司（三一）が主宰する演劇実験室「天井桟敷」の旗揚げ公演が行われたのである。

時代は学園紛争まっさかり。あらゆる既成のものを否定したい若者たちの目に、既存の新劇とは違って役者の個性をいかすアングラ（アンダーグラウンド）劇は新鮮に映った。「状況劇場」の唐十郎（二七）や「早稲田小劇場」の鈴木忠志（二七）、別役実（三〇）らとともにアングラ劇の屋台骨を担ったのが寺山修司だった。

寺山は、昭和一〇年一二月一〇日、青森県生まれ。戦争で父をなくし、生活に追われる母に甘えることもままならない寺山少年は、淋しさを文学でまぎらわすようになったという。青森高校時代には俳句で頭角を現し、同人誌に取り上げられるようになる。早稲田大学入学後は短歌や戯曲に没頭したが、ネフローゼという大病を患う。三年半の入院生活のすえ、大学を中退すると、昭和三三年頃からラジオや映画、草創期のテレビの脚本を精力的に書き始める。寺山の作品には、恵まれない少年時代を象徴するかのように、母子関係を問いかけるものが多い。

退院から二年ほど後、映画監督の篠田正浩に引き合わされた女優の九條映子（後の寺山の妻で劇団の運営も担った。現・九條今日子）は寺山の第一印象を「こんな若い人でも脚本が書けるのかあ」だったと語る。すでに映画界に詳しい九條にとって、同い年でまだ無名の寺山はどこか頼りなく見えたのだ。

そんな寺山が劇団を旗揚げしたのは、七年ほど後だった。寺山を「天井桟敷」結成にうながしたきっかけは、九條の流産とも言われる。だとしたら、満たされぬ母の愛に文学がとって代わった少年時代のように、「天井桟敷」は待ちこがれていた子どもに代わるものだったのかもしれない。

劇団の主宰者となって『家出のすすめ』を著し、全国の家出少年の「天井桟敷」参りを誘発して、世間の反発をかっても、寺山は動じなかった。机にかじりつくより、劇団員や観客とともに芝居を楽しむことが、生来の淋しがり屋がみいだした生きがいだったのだろう。事実、九條は「二人だけの生活の時より、寺山の表情が生き生きと見えた」と証言する。だが、その幸福もはかなかった。昭和五八年五月四日、寺山は永遠の旅に立った。享年四七歳。

寺山修司は、著書『書を捨てよ、町へ出よう』の冒頭「ぼくは速さにあこがれる。ウサギは好きだがカメはきらいだ」の言葉に殉じるかの如く、すさまじい速度で時代を駆け抜けてしまったのである。

人力飛行機舎提供

▲渋谷に開館したばかりの「天井桟敷館」。デザインは粟津潔。

▲1975年、寺山修司（左）は南仏ツーロンで開催された「若い映画」祭で、マルグリット・デュラス（中央）とともに審査員をつとめた。 ハービー・山口

決定的瞬間

銃口に一輪のカーネーション！「フラワーチルドレン」がこめたベトナム戦争終結への願い

それは劇的な一瞬だった。その日、ベトナム戦争終結を叫ぶ三万五〇〇〇人のデモ隊は、ワシントンのリンカーン記念堂前での集会後、国防総省（ペンタゴン）に向かって行進した。待ち受けていたのは、彼らに銃口を向けて並ぶ憲兵隊兵士の壁であった。向かい合う両者に沈黙が流れ、緊張が走ったその時である。一人の若者が前方に歩み寄り、向けられた銃口に、そっと一輪のカーネーションを挿し入れた。その日とは一九六七年一〇月二一日。後に「国際反戦デー」と呼ばれることになる、記念すべき日の出来事である。

この、全米で繰り広げられたベトナム反戦週間の最終日、全国から学生・宗教団体・黒人団体・婦人団体など約七万人がワシントンに集まった。デモに参加した若者のうち数百人は、国防総省の前で徴兵カードを焼いてみせた。

アメリカの、ベトナムへの軍事介入が本格化してからすでに五年以上がすぎ、投入される兵士は年ごとに増大して、一九六六年には四八万人に達していた。戦死者もふえ続け、六五年に一三〇〇人余りだったのが、翌六六年には約五〇〇〇人を数え、そしてこの年には九四〇〇人ほどになっていた。

戦争は拡大の一途をたどり、アメリカは大量の武器と兵力を投入し続けたが、軍が描き、政府がもくろむほどの戦果をあげることはできなかった。国内には戦争遂行への疑念が浮かび始め、自由世界に向けて高々と掲げたアメリカの正義の旗が、少しずつ巻かれようとしていた。

この年、一九六七年には、アメリカの男子労働人口の一％がベトナム戦争に投入されていたが、その多くは、経済的に貧しい層の若者たちだった。政府は彼らに、軍隊へ入れば退役後の暮らしがよくなるといった幻想を抱かせたのである。

一方、豊かな若者たちは戦争忌避へと向かった。平等を掲げるアメリカで生まれた、大きな矛盾であった。

こうした社会矛盾とベトナム戦争に対する若者たちの反応は、学生運動とヒッピーという二つの形で現れる。

学生によるベトナム反戦運動は、すでに一九六五年頃から始まっていた。それが徐々に広がり、この年には全国的な規模に拡大していた。一方、ヒッピーは自然への回帰と平和を呼びかけ、文明社会拒否の姿勢を貫いていく。

兵士の向ける銃口に花を挿し入れた若者は、「フラワーチルドレン」と呼ばれる若者たちの一人である。花は、彼らがその美しい自然の恵みにこめた反戦への願いであった。そして、その願いは五年半後の一九七三年三月、アメリカ軍の全面撤退という形で実を結ぶことになる。

▲アメリカはベトナムへの軍事介入をやめるべきだという声が、学生の間から沸き起こり、反戦の意思を花に託した「フラワーチルドレン」が登場。もの静かに抗議する新しいタイプの運動を展開した。 バーニー・ボストン

美の出会い

構想二〇年の大ロマン！〝漫画の神様〟手塚治虫が「火の鳥」の連載を開始

須原正視

▶「火の鳥」は再出発した三八歳の時点から、二〇年間描き続けられた。

「新宝島」「ジャングル大帝」「鉄腕アトム」「リボンの騎士」などの傑作を次々にものし、日本の戦後漫画界の第一人者として走り続けてきた〝漫画の神様〟手塚治虫（三八）は、新人のような挑戦心を燃え立たせて、漫画雑誌「COM」（昭和四二年一月号）を創刊、「火の鳥」の連載を開始した。

創刊の言葉の中で、手塚はその意気ごみを述べている。「わたしは、この雑誌において、本当のストーリーまんがとはどういうものかを、わたしなりに示したいと思う。同時にかつての『漫画少年』のように、新人登竜門としてこの雑誌を役立てたいと考えている」

昭和三八年一月に「鉄腕アトム」はテレビアニメとして放映開始され、国民的人気を博していた。こうした中で手塚を「火の鳥」に向かわせたのは、一体何だったのだろう。手塚治虫の漫画にあこがれて少年時代をすごした漫画家・矢口高雄は、「手塚先生には白土三平さんへの対抗心があったのではないでしょうか」と語る。

「あの頃、白土さんは『ガロ』に『カムイ伝』を連載していました。これは当時の商業雑誌では、とても載せてくれるようなものではなかった。唯物史観が取りこまれていて、全共闘のバイブルなんて言われてました。それが手塚先生には、非常にうらやましく思えたのではないでしょうか」

週刊誌や月刊誌などの商業誌にはページ数の制限もあって、なかなか大きなうねりのあるストーリーを描ききれないため、手塚は思いのたけを描けるような媒体を考えていたのだろう。

「それで『ガロ』に対抗し『COM』を創刊したのです。『COM』は新人育成を目的にしていたので、竹宮恵子、長谷川法世さんらすごい人材が輩出しました。石森章太郎（現・石ノ森章太郎）さんも寄稿していました。けれど、先生は本当は『火の鳥』を描きたかったのだと思います」

手塚治虫がどうしても描きたかった「火の鳥」は、昭和二九年にストラビンスキー作曲のバレエ「火の鳥」を見た時に思いついたのだという。

「ぼくは、この火の鳥を通じて、日本の歴史を、ぼくなりに描いてみたいと思いました。そしてそのテーマは、いつの世にも変わらぬ人間の生への執着、それに関連しておこるさまざまな欲の葛藤を、火の鳥を狂言まわしにして描くことにしました」と手塚は『火の鳥・黎明編』（虫プロ商事刊）のあとがきに記している。

この構想を作品化したものが昭和二九年七月から「漫画少年」に連載され、その後、「エジプト編」などが「少女クラブ」に連載されたが、いずれも廃刊となり、新たに「COM」で再出発することになったのである。

この後「火の鳥」は掲載誌を変えながら、およそ二〇年間にわたり描き続けられる。「黎明編」「未来編」「ヤマト・異形編」「鳳凰編」「復活・羽衣編」「望郷編」「太陽編上・中・下」「乱世編上・下」「宇宙・生命編」など計一二編は、手塚治虫の思想を集大成したもので、宇宙・人間・生命の根源を真正面から問いかける大ロマンである。

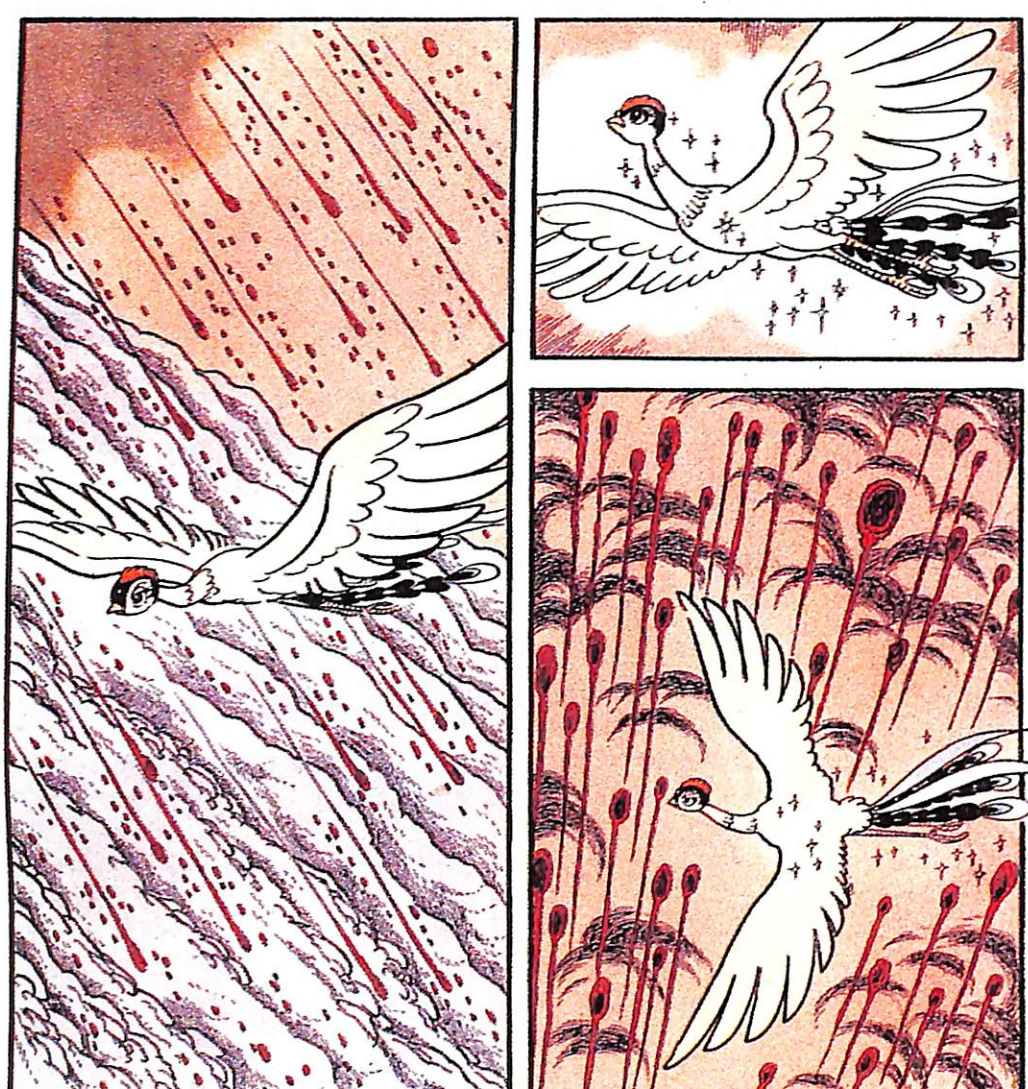
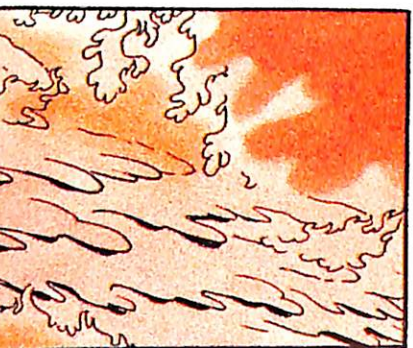
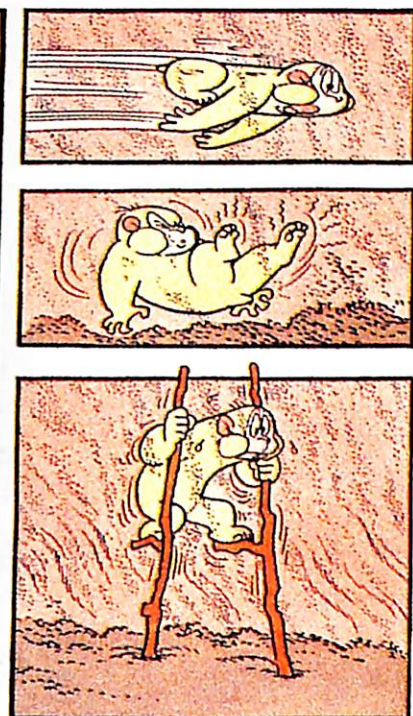
しかし、「過去・未来」との往還から「現在」に集約するという手塚の構想は、「現在」にいたらぬまま、平成元年二月九日、彼の死により未完のままに終わってしまった。

月刊コミック・マガジン
COM こむ
創刊号
1967 1
まんがエリートのためのまんが専門誌
手塚治虫／火の鳥
TVマンガ
悟空の大冒険

▲「COM」創刊号（42年1月）。手塚の個人誌とも言える雑誌だった。

手塚プロダクション提供

6

7

▶古代を背景とした『火の鳥・黎明編』の一コマ。火の鳥がいるクマソ国を舞台に、ヤマタイ国から来た男グズリと、クマソの娘ヒナクを主人公にした物語。

手塚プロダクション提供

「現場」を歩く

むつ

大紛糾した初の原子力船母港の“明暗”

山本徹美

▲関根浜には、「むつ」をかたどった「むつ科学技術館」が建てられている。　斎藤和欣

北海道　函館市　太平洋　津軽海峡　むつ市　下北半島　津軽半島　陸奥湾　六ケ所村　日本海　青森県　青森市

昭和四二年九月五日、政府原子力関係省庁は合同会議の結果、原子力船の定係港（母港）を青森県むつ市に決定した。

わが国初の原子力船「むつ」は、四四年六月東京で進水。定係港であるむつ市大湊港下北埠頭へ移動、その後、出入港のたびに紛糾したが、平成七年六月、二六年の航海を終え廃船となる。その間、船体だけで約一一〇〇億円が投入された。

平成八年七月二〇日、むつ市関根浜に「むつ科学技術館」がオープン。ここには、「むつ」の原子炉などが展示してあると聞き、訪ねてみた。「原子炉室」には小窓が二つ設けてある。黄緑色をしたガラスは鉛製で、厚さは三五チセン。放射能の心配はない、とのことだが、この厳重さにかえって訝しさを感じてしまう。

渡辺卓嗣副館長はもと「むつ」の機関長で、原子力船の設計段階から建造、航行と約三〇年間にわたってかかわってきた。渡辺副館長が「むつ」の意義を語る。

「おかげで原子炉の技術者は二十数人、運航には約四〇〇人が関与し人材が育成されました。彼らが後に原子力発電の発展に貢献したといっても過言ではない」

補償金で得たもの

昭和四九年八月二五日、「むつ」出航をめぐり大湊港で紛争が起きた。ある漁協関係者がその時の憤懣を吐露する。

「放射能汚染でホタテが売れなくなるという不安よりも、事業団の態度が許せなかった。県知事や市長、漁協の組合長だけで話を進め、当事者の漁師にはひとことの説明も、お詫びもねぇんだもんな。それが最大の原因だべ」

反対派は一七六隻の漁船で「むつ」を取り囲んだ。ところが、夕刻から急に強風が吹き荒れ、漁船団は退避。「むつ」はその間隙をつき夜陰に乗じて出港。太平洋上での実験は放射能漏れで失敗、大湊港へ帰港しようとするが、漁民の猛烈な阻止行動にあい立ち往生。定係港契約は白紙に。

◀安全性に不信感を抱く陸奥湾漁民が海上封鎖。

河北新報社

「むつ」のいなくなった大湊港下北埠頭へ行ってみた。途中までの道路は穴だらけで、接岸する船もなく寒々としていた。

五六年五月二四日、ようやく新定係港が決まった。それがむつ市関根浜だった。

関根浜漁協には漁業補償として一八億円、むつ市に五億円が支払われた。

昭和六三年三月、「むつ」が原子炉による出力上昇試験を行おうとしたところ、漁協は反対議決を突きつけた。事業団側は、漁協組合員の家庭を戸別訪問するなど個人単位での説明に力を入れた。関根浜漁協の山中喜代美組合長が振り返る。

「組合の議決は『反対』だったけど、阻止行動はとらない、とした」

漁協では補償金の一部を基金にして、その利子をホタテ、アワビの稚貝やヒラメの稚魚を放流する資金に充てている。

「それまで浜に船を引揚げていたのが、漁港が新設され、出漁の便がよくなった。当漁協の年間水揚げ高は以前と比べてざっと八倍、六億円にまで伸びたんです」

ハイリスク・ハイリターンの配当原理は、原子力にもあてはまりそうである。

発売30年で販売総数4223万体！

“香山リカ、白樺学園5年生の11歳、おうし座、血液型O型”

超ヒット「リカちゃん人形」誕生の秘密

▶ブーツ姿も流行を先取り。

▶憧れのスッチーも登場。

▶“ピンキーとキラーズ”風。

◀好評だったアップの髪型。

●「リカちゃん」のプロフィール
身長142センチ、体重34キロ。得意課目は国語、音楽、美術、苦手は算数。おうし座、O型。性格は明朗で素直、ちょっぴりあわてんぼ。

▲初代の「リカちゃんドリームハウス」。自由に持ち運べて収納が簡単なトランク式は、当時の日本の住宅事情を反映していた。

少女文化に新風を巻き起こした「リカちゃん」は、高度経済成長期に生まれ、戦後の人形史上でも驚異的なロングヒットを記録する。黒い目で五頭身、べた足の「リカちゃん」に少女たちは親近感を抱き、憧れのお姉さんタイプでなく、等身大のアイドルとして大歓迎したのだ。

「リカちゃんいますか？」人形と話したい少女たち

昭和四二年のクリスマスイブ、都内各デパートのおもちゃ売り場には、夕方からケーキ片手のサラリーマンが殺到した。タカラが発売した着せ替え人形の「リカちゃん」（六〇〇円）を娘へのプレゼントに、と争うように買い求める父親たちが列をなしたのだ。

“一一歳、小学校五年生の女の子”に設定されたリカちゃん人形が、お目見えしたのは同年の七月一四日。身長二一チセンで頭部四チセンの五頭身、やせっぽちで心細げな表情のソフトビニール製の人形は、またたく間に少女の心をつかみ、同年一年だけで四八万体も売れた。以来三〇年、現在までの販売総数がなんと四二二三万体（平成九年三月末）。販売数が日本の人口の半分に肉薄する超おばけ商品になったのである。

「発売直後のリカには、鼻の脇にへこみがあるんですが、これは開発担当者が誤って金型を落としてできたものなんです。すぐさま爆発的に売れたので、金型をなおす暇もなかったようです。『リカちゃん電話』も、蓋を開ければすごいフィーバーぶりだった。『リカちゃんいま

すか？」とたどたどしい声で会社にかかってきた女の子の電話をきっかけに開始したこのダイヤルサービスには、「もしもし、私リカよ。昨日はね、ママとショッピングに行ったの」などとテープに吹きこまれた声を聞こうと、最盛期は一日約二万五〇〇〇回ものコールがあったんです」（タカラ広報部）

こうしたエピソードからも、人気のすさまじさがうかがえる。

少女向けマンガ誌の「りぼん」などで人気を博していたマンガ家・牧美也子の描くヒロインに似せて作られたリカちゃんだったが、

「作者の私ですら初めて見た時の"かわいい"という印象は強烈でした。街中でも幸せそうに抱きしめている女の子をよく見かけたものです。リカは今三〇歳。私にとって彼女は娘そのもの」

と牧さんは語る。

発売30年で販売総数4223万体！
"香山リカ、白樺学園5年生の11歳、おうし座、血液型O型"
超ヒット「リカちゃん人形」誕生の秘密

▲車を持つことが贅沢だった時代、昭和46年に発売された「レディーセブン」に乗って、ボーイフレンドのわたるくんとデート。

手が届きそうな気がする少女との"微妙な距離感"

リカちゃんは「携帯できて、片づけカンタン、どこでも遊べる家つき人形の時代が来る」というタカラ社員のレポートをもとに誕生した。意外にも、初めに"器"ありきだったのである。人形本体は、既製のものでは大きすぎて入らないために小振りに作られたのだった。ところが、それがヒットの大きな要因になる。当時の日本では、アメリカ生まれの「バービー」などの先発隊が人気を集めていた。しかし、こうした人形は、ハイティーンを設定してサイズが大きく、グラマラスで顔も大人っぽい。対照的に、一一歳で幼児体型のリカちゃんは、少女たちが手にした時に親近感が湧く、新しい"等身大のアイドル"だったのである。

おまけに、三つ子の赤ちゃんを含み現在九人にふえているリカちゃん一家は、戦後の日本の家族を映し出す存在でもあった。父親の家庭不在と強い母子関係という現実を象徴するように、まず二年後の昭和四四年、デザイナーのママ人形・織江（三三）が登場、五年後にスチュワーデスの姉・リエが現れ、七年後には双子の妹も加わった。"指揮者で海外で公演していた"フランス人の父・ピエール（三六）が登場したのは、バブル経済崩壊で父親の家庭回帰が目立った平成元年。その後、高齢化社会を暗示するかのように、六三歳の祖母エレーヌも登場している。

常に現実の生活を一歩先取りするリカちゃんのライフスタイルも、少女の深層願望を刺激した。子どもが個室を持てなかった昭和四〇年代に、白で統一された鏡台やピアノを持ち、五〇年代にピンク・レディーなどのアイドルが現れれば同じ洋服を着こなす。六〇年代には、"すかいらーく"や"セブンイレブン"も、遊び場として登場した。言いかえれば、社会現象をすぐさま商品化し、メーカー主導の"ごっこ遊び"を提案した戦略が、リカちゃん人形の強みでもあった。

日本女子大学の増淵宗一教授は、

「戦後のベビーブーム期に生まれた少女軍団が登場した三〇年代末から四〇年代は、国産の家電製品などが家庭にあふれ始めて日本が自信を取り戻した時代でした。自分の生活よりは豊かだけれど、はるか彼方の夢物語ではない。少女にとっては、リカちゃん一家が、手が届きそうな"微妙な距離感"を保つ位置にいたことこそ、ブームの最大の要因でしょう」

と分析している。

◀デパートのおもちゃ売り場で、慎重に人形を選ぶ女の子。

朝日新聞社

▲リカちゃんファミリーと友だちが勢ぞろい。左からイサムくん（ボーイフレンド）、いづみちゃん（ガールフレンド）、リカちゃん、カコちゃん（三つ子の妹）、エレーヌ（祖母）、ミキちゃんとマキちゃん（双子の妹たち）、5代目リカちゃん、ミクちゃん（三つ子の妹）、ピエール（パパ）、ゲンくん（三つ子の弟）、織江（ママ）。一家の中でもママは、初代（デザイナー）・2代目（専業主婦）・3代目（ヤング・ママ）と、各時代の理想の母親像を反映させている。

▲30歳でママになったリカちゃん。長女もリカと名づける。

写真は、前ページとも「永遠のリカちゃん」（みくに出版）より

フォト＋日録で再現する365日

▶**灼熱地獄の大阪（7月）** 全国的な猛暑の中、大阪でも生駒越えの東風が熱風となる最悪の夏となった。写真は「朝日新聞」7月19日付掲載の市街の様子。熱で道路が溶け、直線のラインが乱れた。

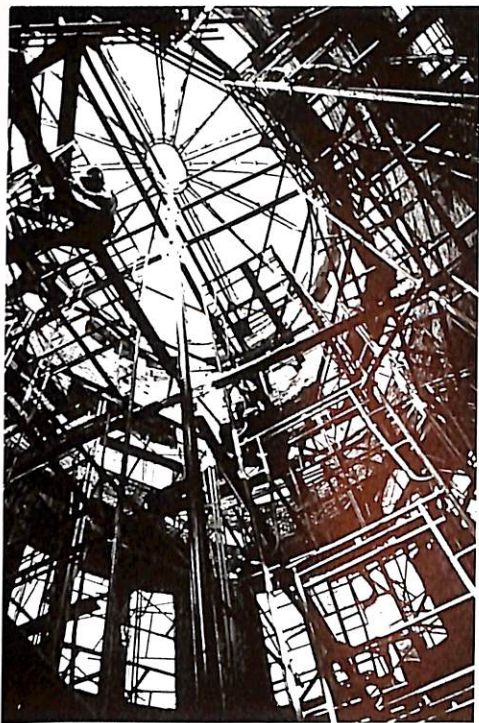
◀**デトロイトで黒人暴動（7月23日）** 騒ぎは5日間にわたり、銃撃戦などで死者38人、負傷者は1000人以上におよんだ。写真は、この日以後、破壊、略奪、放火が続き、廃墟と化した黒人居住区ウェストサイド。

WWP

◀**キング夫人、ウィンブルドンで3冠（7月8日）** 女子シングルス、女子ダブルス、混合ダブルスでそれぞれ優勝。ウィンブルドン（全英テニス選手権大会）での3冠達成は、1951年のドリス・ハート以来。写真は楯と2つのトロフィーを手にするキング夫人。

朝日新聞社

◀**原爆ドームの修復終わる（7月17日）** 崩壊が心配されていたが、前年7月、広島市が保存を決議。各地からの寄付金6680万円で4月に工事を始めていた。完工式は8月5日。

朝日新聞社

▶**首都高都心環状線が全線開通（7月4日）** 最後の霞ヶ関―芝公園間が接続、昭和34年に浜崎橋―一ノ橋間が開通して以来、9年目で総延長約15キロの環が完成した。

毎日新聞社

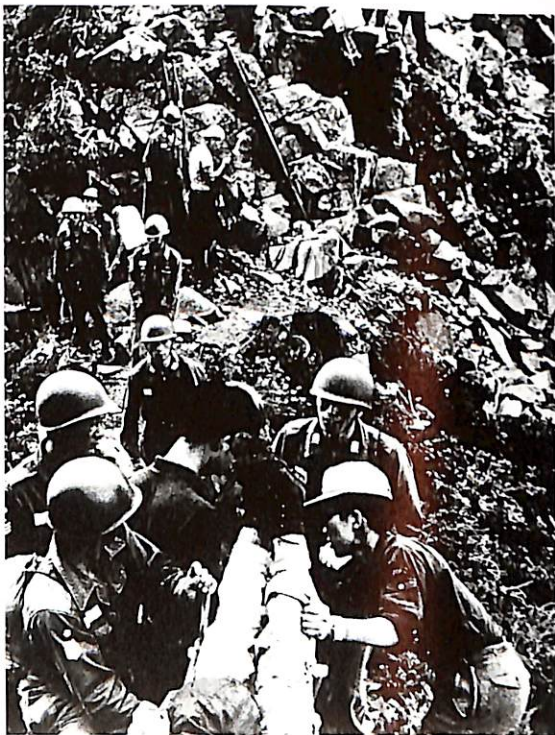
昭和42年7月

1（土）●東京など三都市に中高年対象の人材銀行開設。
●欧州共同体（EC）結成。
2（日）●自動車保有台数が一〇〇〇万台到達と新聞に。
3（月）●大阪で冷房タクシー運賃二割増し制度を開始（批判多く8月18日に廃止）。
4（火）●首都高速道都心環状線、全線開通。
5（水）●新生児管理改善促進組合、病院は新生児を人間らしく扱うよう衆参婦人議員に陳情。
6（木）●最高裁、大逆事件の坂本清馬の再審請求棄却。
7（金）●ゴダール監督「気狂いピエロ」封切。
8（土）●西日本に集中豪雨。二四府県で三六五人死亡。
9（日）●砂川の反基地集会で全学連と警官隊衝突。
10（月）●厚生省の調べで老人自殺率の上位県は高知・和歌山・秋田で農村部に高いと新聞に。
11（火）●日本考古学協会など、万博道路建設から遺跡を守る「藤原宮跡を守る会」を設立。
12（水）●四年間で競馬入場者は二・七倍と国税庁発表。
13（木）●東海道新幹線の乗客が開業以来一億人突破。
●鹿島郁夫、小型ヨットで太平洋単独横断。
●警察庁、蒸発者八万六千余人を一斉公開捜索。
14（金）●タカラ、「リカちゃん人形」を発売。
15（土）●マドリードの技能五輪で日本は総合二位。
16（日）●閣議、米価審議会が答申不能とした生産者米価を九・二％引き上げと決定。
17（月）●茨城県で猿島肝炎再発、死者二一人と新聞に。
18（火）●建築学会を中心に帝国ホテルを守る会設立。
19（水）●東京女子医大山岳部の今井通子ら、女性パーティー初のマッターホルン北壁登頂に成功。
20（木）●動力炉・核燃料開発事業団、発足。
21（金）●公取委、松下電器にヤミ再販の停止を勧告。
22（土）●高田光政、グランド・ジョラスを征服し、日本人初の三大北壁登頂を達成。
23（日）●デトロイトで大規模黒人暴動。三八人死亡。
24（月）●北京で紅衛兵三〇〇人が日本商社の宿舎にスパイ容疑と乱入、日本人五人が負傷。
25（火）●世田谷区、交通渋滞地域住民にうがい薬配布。
26（水）●電波技術審、UHF放送実施は可能と答申。
27（木）●ムルデカ・サッカー大会に二軍派遣予定の日本、マレーシア協会から参加を拒否される。
28（金）●放送法改正公布。NHKラジオ受信料廃止。
29（土）●騒音など公害被害校は二三四校と文部省。
30（日）●奈良市でハンセン病患者施設「結びの家」落成。
31（月）●ハバナでの中南米人民連帯会議、「第二、第三のベトナムを」と武装闘争拡大を決議。

毎日新聞社

▲**たむろするフーテン族（8月）** 東京・新宿の東口駅前広場などに終日集まり、「アングラ」「ヒッピー」などと言われた若者たち。長髪、ジーンズ姿が多く、美観をそこなうなどの批判をあびた。

▶**登山高校生の列に落雷（8月1日）** 被害にあったのは北アルプス西穂高岳を縦走中の松本深志高校の2年生48人ら。一瞬の感電死を含み11人が死亡、13人が重軽傷を負う大惨事となった。

毎日新聞社

証言・あの日この日

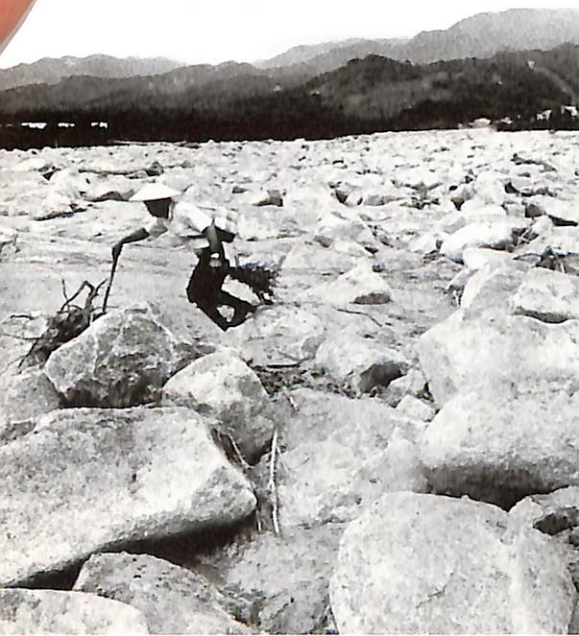
矢部貞治（64）

2月11日（土） 〈建国記念日という初の祭日。珍しく大雪となった。しかも終日降り続いている〉（『矢部貞治日記』）

紀元節の復活であるという一部強い反対意見がある中、この日、初めての「建国記念の日」が祝われた。「同盟登校」という言葉も登場した。「週刊朝日」2月24日号の巻頭グラビア「『建国記念の日』雪の東京」によれば、東京教育大史学科で高島善哉一橋大名誉教授らの特別講座が組まれ、東大教養学部では2500人の学生が授業を受けてから抗議の集会を開いた。しかし革新派の美濃部亮吉が東京都知事に決まった時（4月16日）、〈愉快ではない〉と書く近衛文麿の元ブレーンで政治学者・矢部貞治の、この日に対する感想は、あっさりしたものだ。大雪と言えば、大日本帝国憲法が発布された明治22年2月11日も大雪が降った。 （坪内祐三）

読売新聞社

◀**羽越大水害で開拓地区消滅（8月29日）** 28日からの豪雨で新潟・山形両県で死者113人、不明33人の被害。写真は新潟県下で14戸のうち11戸流失の開拓地区。

唐組提供

▼**紅テント誕生（8月5日）** 唐十郎主宰の「状況劇場」が新宿・花園神社境内に設置、「月笛お仙・義理人情いろはにほへと編」を上演した。写真は公演のちらし。

昭和42年8月

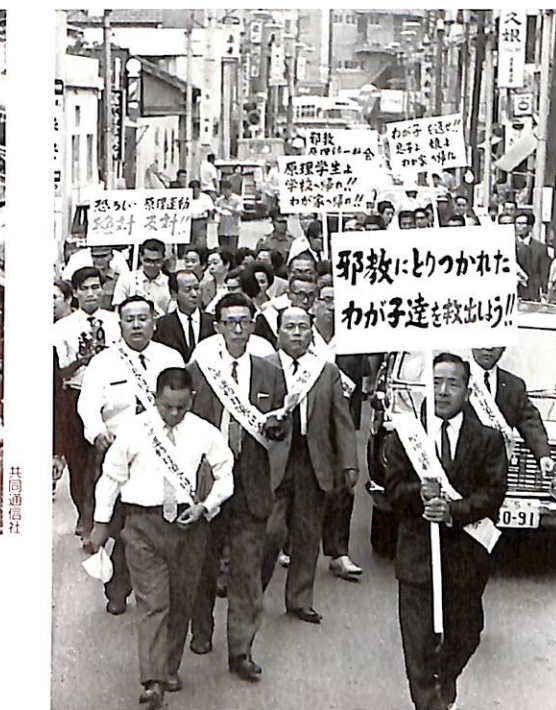
1（火）●資生堂、男性用化粧品「MG5」を発売。
●TBSラジオ、オールナイト番組「パック・イン・ミュージック」の放送開始。
2（水）●身体障害者福祉法改正施行。心臓や肺機能障害者も対象になる。
3（木）●東宝映画「日本のいちばん長い日」封切。
4（金）●経団連、電算機出力テープを帳簿として認可するよう国税庁に要請。
5（土）●唐十郎主宰の「状況劇場」、新宿・花園神社境内で初のテント興行。
6（日）●東京で「違法建築被害者の会」が大会開催。
7（月）●新島米軍射爆場設置に反対する全国漁民大会。
8（火）●新宿駅で米軍燃料用タンク車が衝突炎上。
●東南アジア諸国連合（ASEAN）結成。
9（水）●第一回日韓定期閣僚会議、東京で開催。
10（木）●JCB、日本初の国際クレジットカード発行。
●「週刊漫画アクション」（双葉社）創刊。
11（金）●秘書科など一四学科新設と高校職業教育答申。
12（土）●山口県徳山市漁協、汚染進む徳山湾の漁業権の一部を一億七〇〇万円で出光興産に譲渡。
13（日）●美濃部都知事、新島射爆場設置に反対を表明。
14（月）●住友銀行、完全自動化銀行システムを開発と発表。そろばんと帳簿をなくす。
15（火）●千葉県庁で空港反対同盟と警官隊が衝突。
16（水）●マレーシア、日本の戦争最終賠償案を拒否。
17（木）●厚生省、野犬被害増加に対し対策会議を開催。
18（金）●国際数学テストで日本の中学生が世界一に。
19（土）●東京・山谷で数千人が三日間連続で集団乱闘。
20（日）●夏の甲子園で習志野高校優勝。千葉県勢で初。
21（月）●北富士演習場の返還を求める忍草母の会、着弾地付近で座りこみ。
22（火）●関西大探検部、新潟県青海町の洞窟で地下三七〇㍍まで潜る。地下探索の日本記録。
23（水）●東京・板橋署の刑事六人が聞きこみ先の女性宅で勝手に入浴・昼寝などをしていたと判明。
24（木）●経企庁、GNPが一〇〇〇億㌦突破と発表。
25（金）●東京女子医大に「狭心症センター」が発足。
26（土）●少年野球の西東京チーム、米破り世界一に。
27（日）●ユニバーシアード東京大会開幕（～9月4日）。
28（月）●東京新聞社、中日新聞社に経営権譲渡を決める（10月1日中日新聞東京本社発足）。
29（火）●東北地方に前日来豪雨。一四六人死亡・不明。
30（水）●胎内被爆小頭症を原爆症に認定と審議会答申。
31（木）●支笏湖で敵前潜行訓練中の陸自隊員四人水死。

日録 20世紀 1967 9~10月

◀**三池三川鉱で坑内火災(9月28日)**大牟田市の三川鉱で坑口から4200メートル付近で火災発生。作業中の572人のうち、7人が死亡。242人は一酸化炭素中毒にかかり、後にその後遺症に苦しむことになった。

▲**ヘンリー・ミラー5度目の結婚(9月10日)**アメリカ人作家ミラー(75)は、日本人のジャズシンガー、ホキ・徳田さん(28)とハリウッドで挙式した。

◀**原理運動に父母の訴え(9月16日)**全国の代表80人が原理運動対策父母の会を結成。渋谷にある世界基督教統一神霊協会までデモ行進して、「わが子を家庭に、学校に返せ」と訴えた。

▼**法大で275人逮捕(9月14日)**前日、学生の処分問題で団交中、学長らを会議室に監禁した。この日機動隊を導入、抵抗する全共闘系学生らが逮捕された。

▲**ボンベ300本が爆発(9月21日)**大阪市の日本瓦斯工業会社のガス充填室付近から出火し、近くにあったアセチレンガスボンベが1時間にわたって次々に爆発。作業室、倉庫などが全半焼し、4人が負傷した。

昭和42年9月

1(金)●四日市喘息患者九人が石油コンビナート六社に慰謝料求め提訴(初の大気汚染公害訴訟)。
2(土)●TBS「逃亡者」最終回。視聴率三一・八%。
3(日)●日航、大阪—ソウル間に定期便を就航。
4(月)●高崎経済大自治会乱闘事件公判前の前橋地裁構内で、同大生一二〇人が警官隊と衝突。
5(火)●政府、原子力船の母港を青森県むつ市と決定。
6(水)●外務省、米軍押収の戦争絵画返還を要請。
7(木)●首相、台湾を公式訪問(8日蔣介石と会談)。
8(金)●初の職業病全国交流集会開催(以後毎年)。
9(土)●デビ夫人、小説「生贄」の作者・梶山季之らを名誉毀損で東京地検に告訴。
10(日)●ヘンリー・ミラー、ホキ・徳田と結婚。
11(月)●米で「喫煙と健康に関する世界会議」開催。
12(火)●新婚家庭向きの三点セット三万円台のユニット家具が人気、と新聞に。
13(水)●法政大で全共闘と学長が大衆団交(14日機動隊導入。学長を救出し学生二七五人検挙)。
14(木)●社会党を離党した山口シズエ、自民党入党。
15(金)●米軍、横田・三沢にF4戦闘機を配備と発表。
16(土)●統一教会の原理研究会に加わった学生の父母らが「原理運動対策全国父母の会」を結成。
●ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」(森繁久弥・越路吹雪ら出演)が初演。
17(日)●コンテナ専用船「ハワイアン・プランター号」が神戸港に入港。日本でのコンテナ船初入港。
18(月)●米、中国向け弾道弾迎撃ミサイル配備と発表。
19(火)●南極海捕鯨規制調印。日本配分は四六・七%。
20(水)●東京・渋谷職安でパートタイマー入門教室を開設。予想の二倍以上の希望者。
21(木)●石油連盟、貯蔵能力を六〇日分に増強と決定。
22(金)●初の民間人サハリン視察団、邦人墓参に出発。
23(土)●九州農政局、干害被害額は四〇三億円と発表。
24(日)●この夏、全国牛乳商連の調べで初めてコーラの売れ行きが牛乳を上回った、と判明。
25(月)●京都で国際刑事警察機構(ICPO)が初のアジア地域会議開催(~26日)。
26(火)●神戸地裁、女性社員への結婚解雇に無効判決。
27(水)●IOC、五輪メダリストに性別検査と決定。
28(木)●上越線の新清水トンネル開通、全線複線化。
●三池三川鉱で火災。七人死亡、二四二人中毒。
29(金)●韓国、大邱市に日本の無償援助で慶北技術学院の設立を決定。
30(土)●岸和田市の私立保育所が二四時間保育開始。

CORBIS-BETTMANN/PPS

共同通信社

▲**吉田茂元首相、国葬(10月31日)**心筋梗塞のため89歳で20日に死去した。この日、日本武道館で戦後初の国葬が行われ、内外の5700人が参列。佐藤首相が追悼の辞で吉田の業績を讃えた。

◀**キューバ革命の指導者、ゲバラ死す(10月9日)**ボリビア陸軍は「バエグランデ付近の戦闘で負傷したところを逮捕。この日39歳で死亡した」と発表した。「私はチェだ。私は失敗した」がゲバラの最後の言葉だったという。

▶**全学連、流血のデモ(10月8日)**佐藤首相の東南アジア訪問阻止をめざす学生約2500人は、初めてほぼ全員が石や角材で「武装」、羽田空港入り口の3つの橋で機動隊と激突。京大生・山崎博昭君(18)が死亡、250人が重軽傷を負い、58人が逮捕された。

▼**むち打ち症激増(10月26日)**全国むち打ち症被害者対策協議会が発足。翌日、代表20人が坊秀男厚相に対策強化を陳情した。写真はリハビリ中の患者。

朝日新聞社

朝日新聞社

▲**ビッグスリーが日本で対決(10月3日)**ゴルフの三強(左から)プレーヤー、ニクラウス、パーマーが3日間各地を転戦し、ファンを喜ばせた。トータルでニクラウスが優勝し、2万5000ドルを手にした。

昭和42年10月

1(日)●プロ野球の阪急、創立三二年目でリーグ初優勝(阪急百貨店が初の優勝記念セール)。
2(月)●南ベトナム民族解放戦線、日本貨物船を砲撃。
3(火)●兵庫県教委が高校入試改革。内申書重視へ。
●東北の無医地区に台湾から医師赴任と新聞に。
4(水)●プロ野球大洋の監督三原脩、退団(35年就任)。
5(木)●国労、米軍軍需物資の輸送拒否を決定。
6(金)●国語審議会総会、漢字の表音尊重方針を提案。
7(土)●二〇万円台の家庭用電子レンジ発売と新聞に。
8(日)●全学連、首相の東南アジア訪問阻止闘争で機動隊と衝突。山崎博昭死亡(第一次羽田事件)。
9(月)●ボリビア陸軍、チェ・ゲバラの死亡を公表。
10(火)●新東京国際空港公団、未明に敷地の測量強行。
11(水)●北海道浜益村議会、原発誘致促進特別委員会を設置(誘致運動広まり、一五自治体に)。
12(木)●前年度の技術輸出額は輸入の八%と科技庁。
13(金)●吉展ちゃん事件(38年)小原被告の死刑確定。
14(土)●公取委、百貨店などに過剰包装の自粛を要望。
15(日)●ラオス独立戦参加の元日本兵・赤坂勝美、帰国。
16(月)●経団連、公害処理の企業負担軽減策を決定。
17(火)●清朝最後の皇帝・愛新覚羅溥儀、北京で死去。
18(水)●「ミニスカートの女王」ツイッギーが来日。
●ソ連の惑星探査機「金星四号」、金星に軟着陸。
19(木)●自動車工業会、初の国内安全対策基準を決定。
20(金)●吉田茂元首相、死去(31日戦後初の国葬)。
21(土)●ワシントンで一〇万人が、ベトナム反戦集会(各国で統一行動。以後「国際反戦デー」に)。
22(日)●東レ機密文書スパイ事件で社員ら三人逮捕。
23(月)●警視庁科学検査所、赤外線カラーフィルムを使用した鑑定技術を公開。
24(火)●元ブラジル移民が募集条件より実際は劣悪な環境だったとして海外移住事業団を告訴。
25(水)●ザ・テンプターズ「忘れ得ぬ君」でデビュー。
26(木)●全国むち打ち症被害者対策協議会、発足。
●英「ファイナンシャル・タイムズ」紙、都市生計費比較を発表。東京は食費で世界一に。
27(金)●三重県熊野市で台風の山津波で二三人死亡。
28(土)●神奈川県衛生部、錫検出のカゴメへのトマトジュース回収指示を名古屋市衛生局に要請。
29(日)●テロで負傷のベトナムの女学生が治療に来日。
30(月)●TBS、日本では初の北ベトナム長期取材番組「ハノイ・田英夫の証言」放映。
31(火)●最高裁、工場騒音への慰謝料請求権を認める。
●海上自衛隊員二〇〇〇人が伊勢神宮へ参拝。

11～12月

◀狂乱、ゴーゴー大会(11月4日)渋谷のデパート駐車場でゴーゴー大会が開かれたが、中・高校の女生徒を中心に、朝から集まりだし、午後1時の開演には1万人を超えた。バンドの音とともに大騒ぎとなり、会場からはみだして住宅に侵入するものもいて、一帯は終日大混乱した。

毎日新聞社

毎日新聞社

▲喜びの小笠原島民(11月15日)ワシントンで開かれた佐藤首相とジョンソン大統領の会談で、沖縄は先のばしにされたが小笠原諸島の本土全面復帰が決定、翌43年6月に返還された。写真は東京・霞が関の小笠原協会で復帰を喜ぶ会員たち。

◀由比忠之進さん(73)焼身自殺(11月11日)佐藤首相の訪米前日のこの日、沖縄返還要求への弱腰と北爆支持に抗議する遺書を残して、首相官邸前で焼身自殺(翌日死亡)した。由比さんはエスペランティストだった。

▶ベ平連、脱走米兵を支援(11月13日)小田実代表は、横須賀に入港した米空母から、ベトナム反戦を理由に航空兵4人が脱走したとフィルムを見せながら発表。20日にソ連政府が、4人は日本を脱出して国内にいると公表した。

朝日新聞社

◀チャンピオンは16歳の沢松和子(11月19日)東京の田園コロシアムで行われた全日本テニス選手権女子シングルスで、小幡選手をセットカウント2対0で破り、史上最年少のチャンピオンになった。

朝日新聞社

昭和42年11月

1(水)●郵政省、UHFテレビ一六局に予備免許。

2(木)●閣議、空母「エンタープライズ」の寄港承認。●厚生省、車道禁止など「尾瀬を守る計画」策定。

3(金)●小林秀雄、林武ら五人が文化勲章を受章。

4(土)●東京・渋谷で一万五〇〇〇人がゴーゴー大会。

5(日)●奈良市のザ・タイガース公演で入り口へ殺到した観客が将棋倒し、二十余人負傷。

6(月)●工業技術院、電磁石を使って電気を起こすMHD発電の連続一一〇時間運転に成功と発表。

7(火)●国連総会、婦人に対する差別撤回宣言を採択。

8(水)●ハーグ議定書発効。航空機事故補償の限定額が倍増の六〇〇万円に。

9(木)●米軍押収の原爆記録フィルムが返還される。●トヨタとダイハツが業務提携の覚書に調印。

10(金)●福島交通社長、全従業員解雇を新聞で社告。

11(土)●エスペランティストの由比忠之進、首相の北爆支持などに抗議して首相官邸前で焼身自殺。

12(日)●全学連五八〇〇人、羽田での首相訪米阻止闘争で機動隊と衝突(第二次羽田事件)。

13(月)●ベ平連、米空母から四人が反戦脱走と公表。

14(火)●竹内青森県知事、原子力船の受け入れを回答。

15(水)●小笠原返還は一年以内との日米共同声明発表。

16(木)●防衛庁、小笠原の米軍基地は共同使用と決定。

17(金)●米航空宇宙局、初の地球のカラー写真を公開。

18(土)●英、ポンド切り下げ発表(ポンド・ショック)。

19(日)●全日本テニスで一六歳の沢松和子が優勝。

20(月)●日米共同声明に沖縄返還が明示されず、那覇市で一一万人が抗議の「葬送行進」。●ポンド・ショックで東証が戦後最大の暴落。

21(火)●警視庁、中高生の間で流行しているシンナー遊びに取締り強化を決める。

22(水)●郵政省、「郵便番号制」の実施計画を発表。

23(木)●中央競馬の天皇賞をカブトシローが制覇。同賞の売り上げは十四億余円で大幅に記録更新。

24(金)●日本の乳癌死亡率は世界最少とWHO。

25(土)●スーパーが二年で三二%増と通産省商業統計。

26(日)●中小企業で五〇歳以上の雇用が増加と新聞に。

27(月)●東京地裁、夫の運転ミスで負傷した妻も自賠責保険の「他人」にあたり請求可能と判決。

28(火)●北大医学部、交通事故死者の大動脈弁を心臓弁膜症患者に移植する手術に成功。

29(水)●北爆に異議唱えたマクナマラ米国防長官辞任。

30(木)●政府、旭精機のフィリピンへの銃弾プラント輸出を承認。戦後初の武器プラント輸出。

▶ベトナム戦争の基地、沖縄(12月26日)北爆激化とともに米軍は、軍用地内への農民の立ち入り禁止と、新たな土地接収を計画した。写真は基地での仕事の後も畑に出る沖縄の農民。

朝日新聞社

共同通信社

▲帝国ホテル旧館取り壊し(12月1日)アメリカの建築家ライトの設計で、大正12年に開館、大震災や戦災を耐え抜いたが、老朽化が激しく解体が決まった。後、明治村に移築された。

▼LPガス課税をめぐるタクシー汚職(12月6日)大阪地検は、大阪タクシー協会幹部に続き、衆院運輸委員だった寿原前議員(中央)を収賄容疑で逮捕、25日には関谷議員を逮捕した。

共同通信社

▼小林、沼田をKO(12月14日)蔵前国技館で日本人同士の初の世界J・ライト級タイトルマッチが行われ、前半はチャンピオンの沼田義明(右)が有利に試合を進めたが、挑戦者の小林弘は、12回に左右の強打を決めてKO勝ちした。

時事通信社

野上透

▲都電銀座線、廃止(12月9日)午後11時すぎ、銀座4丁目の交差点で行われた記念式典には、美濃部都知事をはじめ数千人の都民やファンが詰めかけ、最終電車を「蛍の光」の大合唱で見送った。

昭和42年12月

1(金)●帝国ホテル旧館取り壊し開始(明治村へ移築)。

2(土)●老後の年金希望額は月一万円が多いと厚生省。

3(日)●南アで世界初の心臓移植手術(21日死亡)。

4(月)●北九州市で暴力団組長に生活保護支給と判明。

5(火)●行革本部、国家公務員の五%削減計画を決定。

6(水)●大阪地検、タクシー汚職事件で寿原正一前衆院議員を逮捕(25日関谷勝利衆院議員を逮捕)。

7(木)●裁縫などの通信教育受ける主婦増加と新聞に。

8(金)●日本鋼管、福山製鉄所に世界初の三〇〇〇ト級高炉建設と発表。

9(土)●都電銀座線など九系統八路線が廃止される。

10(日)●東京のデパート二〇店、この日の売り上げが五〇億円を超え、過去最高を記録。

11(月)●英仏共作の超音速機「コンコルド」一号機完成。

12(火)●初の日米自動車会談。米、輸入促進策を要求。

13(水)●日中漁業協議会、日中民間漁業協定存続を求め、漁民大会を開催(20日中国が延長通告)。

14(木)●CBS・ソニーレコード社の設立発表。●初の日本人対決、ボクシング世界J・ライト級選手権で小林弘が沼田義明を破り新王者に。

15(金)●中央自動車道の調布―八王子間が開業。

16(土)●早川電機(現・シャープ)、IC使用電卓を発売。●岡本太郎、大阪万国博の「太陽の塔」を発表。

17(日)●耳鼻咽喉科医連、治療費値下げに抗議し、保健医総辞退を決議(18日撤回)。

18(月)●都、大人三二円など、公衆浴場料値上げ認可。

19(火)●根室市議会、歯舞諸島を市有地扱いにと決議。

20(水)●自動車生産台数で西独抜き日本二位と判明。

21(木)●警察庁、裁判抜きの交通反則金徴収制案決定。

22(金)●沖縄放送協会宮古局が開局(23日八重山局)。

23(土)●官民共同の日本情報処理開発センター設立。

24(日)●全日本バレーボール女子選手権で、常勝ニチボー貝塚に代わり日立武蔵が初優勝。

25(月)●ザ・フォーク・クルセダーズ「帰って来たヨッパライ」発売。

26(火)●国民所得統計発表。GNPは世界第三位に。

27(水)●沖縄のコザ治安裁判所、出入管理令は日本国憲法に違反すると日本人女性に無罪判決。

28(木)●灘尾文相、小学生にも国防意識が必要と言明。

29(金)●ベ平連支援の脱走米兵、スウェーデンに亡命。

30(土)●千葉県富来田町で混合ワクチンの予防接種を受けた幼児二〇人が発熱、三人が重症。

31(日)●NHK受信契約数が二〇〇〇万件を突破。テレビの普及率は八三・一%となる。

我楽多市

流行語
女性の生きにくさを示す言葉

「ハイミス」。二十七、八歳以上の独身女性をさす。この年、ハイミスが流行語になった社会的背景は二つある。第一に社会が安定して中流意識を持つ人が国民の約半数に達した（経企庁の調査）。その結果、戦争で婚約者などを亡くし、その後独身を余儀なくされた女性の存在があらためてクローズアップされたこと。もうひとつは高度成長社会の中で男性と対等に仕事をする女性もふえたが、彼女たちは有能ゆえに男性から煙たがられたり、仕事に夢中で婚期を逸することも少なくなかったからである。その意味で「ハイミス」という言葉は、当時の社会における女性の生きにくさを示していた。

「ボイン」。日本テレビの「11PM」は大人の時間として人気を呼び、特に大橋巨泉と朝丘雪路のちょっとエッチなやりとりは評判だった。「ボイン」も彼女の大きな胸をからかって言った言葉で語感がぴったりだったところからたちまち一般に広がった。その後「ナイン」や「ノンチッチ」といった反対語も生まれた。

◀和服でプレーする女性が現れるほどの大ブーム。ボウリング場は全国で400ヵ所を超え、ファンは270万人を数えた。

毎日新聞社

経済
大金持ちも小大名並み 江戸と現代を比較すれば

現代の金持ちの年収を、江戸時代のサムライの階級にスライドさせてみたら……民間機関が、こんな研究を行った。それによると長者番付一位の上原正吉（六億九三〇〇万円）は三万石の小大名。二位の松下幸之助（五億二七〇〇万円）は二万五〇〇〇石。佐藤栄作首相（九三五万円）は五〇〇石たらずの旗本。なお年収一〇〇万円のサラリーマンは五〇石取り。OLの平均年収五〇万円は二五石で大奥の女中並みという。

（「サンケイ新聞」一一月六日）

科学
日本列島はズレている！ 人工衛星が発見した真実

海上保安庁水路部が、日本列島の正確な位置を決定しようと、人工衛星による観測を進めることになった。同部が先頃、東京都・鳥島の位置を調べたところ、これまでの海図では実際の位置より約一五〇〇メートルも東方に記されていることがわかった。同様のことは列島全体でも考えられるわけで、日本の位置くらいちゃんとつかんでおこうというわけ。

（「日立」九月号）

モンキー・パンチ／双葉社提供

ルパン三世 第6話

シッパイ大作戦

▲8月創刊の「週刊漫画アクション」（双葉社）に掲載され、たちまち人気を呼んだ「ルパン三世」。

CM100年 タレント・大空真弓

テレビCF
「今夜はあったかいシチューです——ハウスシチュー」（ハウス食品）

車
秋田県に登場 ダブルハンドルカー

〔秋田発〕日本初のダブルハンドルカーが、秋田市と横手市に現れた。運転席と助手席の両方にハンドル、アクセル、ブレーキなどが二つずつついた完全ダブル操縦装置つき。両市の自動車教習所が特注したものだが、あくまで運転教習用で一般人は乗せないという。

（「秋田さきがけ」八月一一日）

データ
一位は四万三〇〇〇円 大卒初任給ベストファイブ

昭和四二年の就職戦線は好調、初任給も大卒技術系男子三万九七五三円、事務系男子三万八七五八円、と前年に比べ大幅に伸びた。その中で初任給上位会社は1赤井電機＝四万三〇〇〇円、2東洋曹達＝四万一四五〇円、3北海道瓦斯＝三万七六〇〇円、4札幌テレビ放送＝三万六五〇〇円、5読売新聞社＝三万六〇〇〇円の順だった。

（「プレースメント」九・一〇月号）

三面記事
女性にフラレて泣く男が急増

男泣きといえば感動的で、カッコいいものだった。しかし今や女性にフラレて泣くのが一般的現象になりつつある。たとえば、女子大二年のA子さんは予備校時代の友人のTとつきあっていたが、Tの親友がすごくカッコいいので、彼にひかれるようになった。そこでTに「別れたい」と言うと、理由も聞かずシクシク。気の毒に思ったA子さんが「ごめんね」と言うと、もうたまらないというように、腕にすがってオンオンと泣き出した。またOLのB子さんはデートの途中、和食か洋食かで彼と口論。B子さんはプイと横を向いた。ところが振り返ったら、彼は数メートル離れたところでシクシク泣いていた。フラレると思ったという。作家の宇能鴻一郎氏は、この現象を「戦後の新教育の結果であり、これからはもっとふえるだろう」と予測している。

（「週刊プレイボーイ」五月二日号）

▲3月、初のドッグレースが東京で開催された。

共同通信社

◀六月にキリンビールがリングプル式缶ビールを発売。

ボディタッチの民族比較 フランス人は三〇秒に一回

イギリス科学振興会という研究機関が、「ボディタッチの民族的差異」というデータを発表した。街で並んで話をしているカップルを観察して、一時間に何回相手にさわるかを数えたのである。その結果、パリの喫茶店にいたカップルは一二〇回、つまり三〇秒に一回のわりで触れた。メキシコシティではさらに多くて一八〇回。これに対して自国のイギリスのカップルはゼロ。肩が偶然に触れ合うことさえなかった。「紳士の国」と言えば聞こえはいいが、コチコチの朴念仁であることがデータからも裏づけられたという。

（「週刊平凡パンチ」一二月二〇日号）

運転免許試験のカンニング・コーチ

〔佐賀発〕試験にはカンニングがつきものだが、このほど佐賀で自動車運転免許試験の正解を、鉛筆や手の位置などのサインで合図するカンニングのプロ・グループが捕まった。

この一味は元警官などを含めて四人、佐賀県警・高木瀬試験場で堂々とカンニング・コーチをしていた。コーチ料は一人五万円なり。さすがプロフェッショナルだけに、試験前夜に生徒を集めて、模擬試験まで行ったという。免許試験の問題は、解答①②③のうち正しいものに○をつければよいのだから、①は右手で頬をおさえる、②は机の角をつかむ、③は机の右端に鉛筆を置くとサインを決め、本番ではこのサインを一分間隔に出す仕組み。警察の調べによるとこのサインで不正合格したものは六八人で、もちろん全員免許取り消しとなった。

（「佐賀新聞」九月八日）

この年の初もの
新婚旅行に人気の地、宮崎へ大阪から専用列車が

●**国産霊柩車** それまではキャデラックやベンツを改造したものだったが、トヨペットクラウンを改造したものが登場。

●**稲刈り会社** 富山県の農村に登場。動力稲刈り機二台に従業員四人で、料金は一〇アール一六〇〇円。

●**テレビ専門の解体屋** 茨城県に登場。これからは年間四〇〇万台のテレビがポンコツ化するはずと、それを見越して開業したもの。

▲11月、新婚夫婦60組が、専用機でハワイへ。費用は1組25万円。

朝日新聞社

はやり歌

ブルー・シャトウ

森と泉に　かこまれて
静かに　眠る
ブルー　ブルー　ブルー　シャトウ
あなたが僕を　待っている
暗くて　寂しい
ブルー　ブルー　ブルー　シャトウ
*きっとあなたは　赤いバラの
バラのかおりが　苦しくて
涙をそっと　流すでしょう
夜霧のガウンに　つつまれて
静かに　眠る
ブルー　ブルー　ブルー　シャトウ
ブルー　ブルー　ブルー
ブルー　ブルー　ブルー　シャトウ
（*以下を繰り返す）

▲グループサウンズ全盛時代で、この年、ジャッキー吉川とブルー・コメッツの「ブルー・シャトウ」が日本レコード大賞を受賞した。

帰って来たヨッパライ

*おらは死んじまっただ
おらは死んじまっただ
おらは死んじまっただ
天国に行っただ*
長い階段を　雲の階段を
おらはのぼっただ　ふらふらと
おらはよたよたと　のぼりつづけただ
やっと天国の　門についただ
**天国よいとこ　一度はおいで
酒はうまいし　ねえちゃんはきれいだ
ワー　ワー　ワッワー**
おらが死んだのは
よっぱらい運転で　アレー
（*部分を繰り返す）
だけど天国にゃ　こわい神様が
酒をとりあげて　いつもどなるんだ
「なあおまえ　天国ちゅうとこはそんなに甘いもんや　おまへんにゃ
もっとまじめにやれ」
（**部分を繰り返す）
——以下略

東芝EMI提供

▲北山修らザ・フォーク・クルセダーズのこの作品は、深夜放送から火がついて大流行した。

世界の動き

ワスカンスキー氏は一八日間生き続けた南アで世界最初の心臓移植手術！

一九六七年一二月三日、宇宙旅行とともに二〇世紀の人類の夢と言われた世界初の心臓移植手術が行われ、移植された心臓は一八日間動き続けた。その後、欧米を中心に手術は積極的に行われたが、日本では提供者の死の判定（脳死）をめぐり今も大きな論議を呼び起こしている。

▲心臓移植を行っているバーナード教授チーム。バーナード教授は、最初の手術から約1ヵ月後、歯科医フィリップ・ブライバーグ氏の手術を手がけ、南アフリカは心臓移植手術のメッカ的存在に。 Popperfoto／ユニフォト・プレス

移植された女性の心臓が再び鼓動を開始した！

「やがてはやるだろうと思ってはいましたが、アメリカではなく南アフリカでのことだったのでびっくりしました。思いきったことができる医療環境にあったのですね」

日本移植学会前理事長で東京女子医大の太田和夫教授は、当時の驚きを語る。

心臓移植手術が行われたのは、南アフリカ共和国ケープタウンのクルータ・スキュール病院でのことで、執刀したのは、クリスチャン・バーナード教授（四五）を中心とする外科チームであった。

この年一二月二日夜、銀行員の娘、デニス・ダルファルさん（二五）が同病院で死去。彼女の心臓はすぐさま、不治の心臓病で入院していた食料品卸売業のルイス・ワスカンスキーという五五歳の男性に移植されたのである。この世界初の移植手術は、五時間にもおよんだ。

手術は、ダルファルさんの死が不可避と判断された、三日午前一時三〇分に始まった。三〇分後ダルファルさんは死亡したが、摘出された心臓は、男性患者の体内で縫い合わされ、鼓動を止めてから約二時間一五分後、電気ショックによって再び鼓動を開始した。移植を受けたワスカンスキー氏が目をさましたのは三日の午後早くのことだった。

病院長のバーガー博士は三日夜、手術の成功を確認し「血圧は正常であり、病状もすこぶる良好」と述べた。

手術後の経過も順調であった。翌四日には、「前より気分がよくなった」と語り、五日には「おなかがすいた」と半熟卵をのどに流し入れた。

一〇日には、ステーキや卵を食べ、ベッドから起きあがり歩くことができるようになり、一四日には病室の外のバルコニーまで出たほどであった。

しかし、一八日になって、二日前に拒否反応を防ぐためにほどこされた薬物療法のため肺炎を引き起こし、容態が急速に悪化、二一日に死亡した。移植から一八日目のことであり、死因は肺の局所的な激しい炎症であると診断された。

◀ワスカンスキー氏の死は、〝やはり〟という反応を引き起こし、快挙に沸いた医学界を動揺させた。 WWP

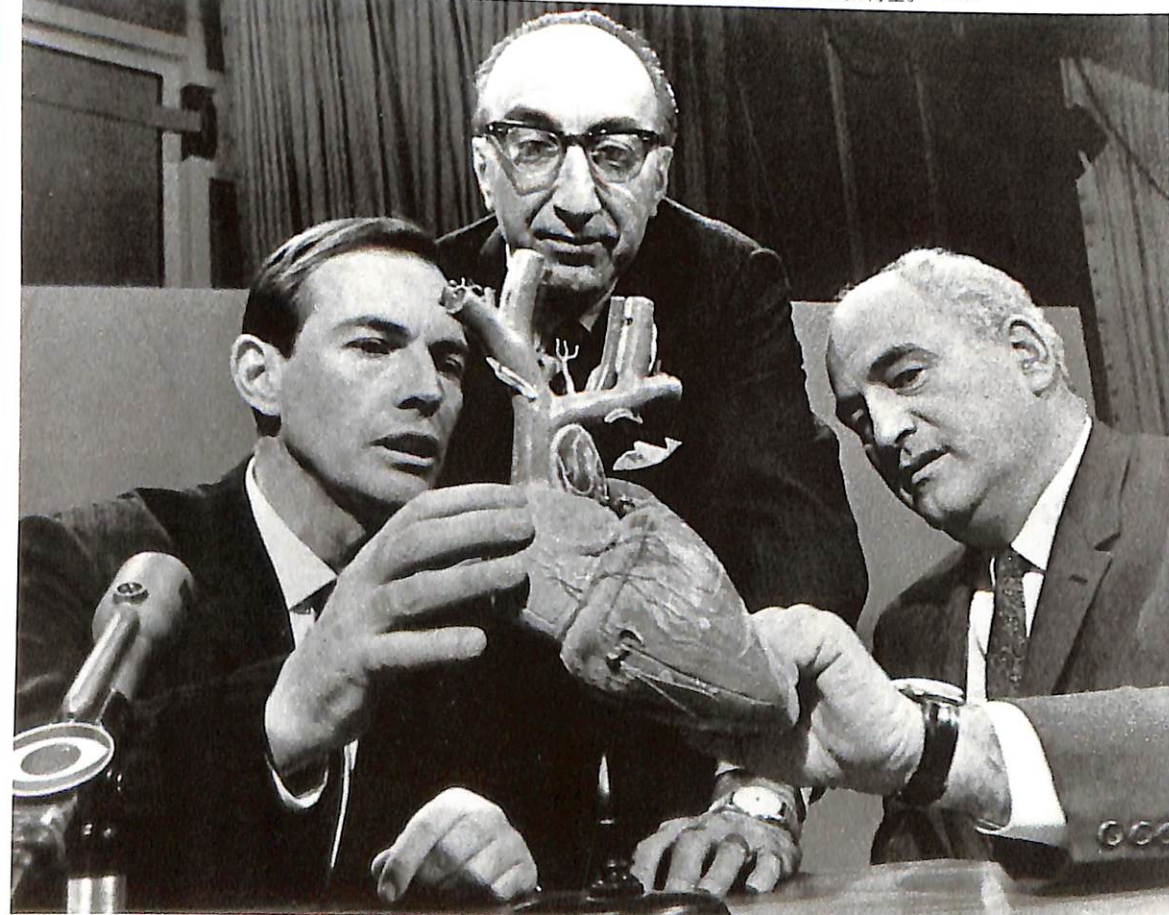
先を越された〝本命〟シャムウェイの驚き

今や「心臓移植の神、生みの親」と称されるアメリカ、スタンフォード大学のノーマン・シャムウェイがミネソタ大学で心臓移植の研究を始めたのは一九五〇年代だった。一九六〇年には、リチャード・ローアとともに、犬の心臓移植実験を行い、八頭中五頭の犬を六日から二一日間生存させることに成功し、世界の心臓外科医たちを驚かせた。

また、六四年にはミシシッピ大学で心筋梗塞の患者にチンパンジーの心臓を移植するという大胆な試みが行われるなど、人間の心臓移植の機は熟していた。

そしてシャムウェイがアメリカの外科学総会で「心臓移植の実験研究は最終段階に達している。私はほぼ、心臓移植の技術を完成した。条件が整えば、来年早早に人体に心臓移植手術を実行するつもりである」と述べたのは、バーナードによる世界初の心臓移植が行われる一ヵ月前のことであった。

バーナードの移植成功のニュースが伝わるとシャムウェイは先を越されたことに色をなし、一瞬言葉を失ったと言われている。そしてその後まるでせきを切ったように心臓移植ラッシュが続くことになった。なお〝本命〟とも言われたシャムウェイが移植を行ったのは翌一九六八年一月六日。患者は五日間生存した。

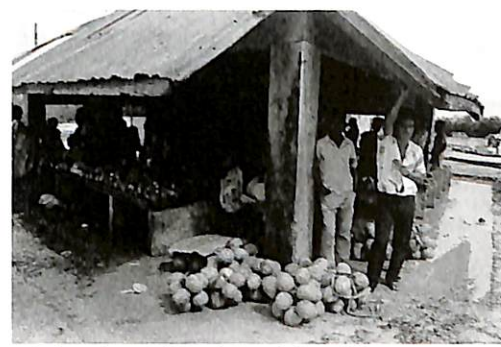
▼CBSテレビに出演した心臓移植専門医。左からバーナード、デバキー、カントロウイッツの3博士。 WWP

英語教師クラウチが目撃したトラック諸島のメイド・イン・ジャパン

外から見たNIPPON

——佐伯　修

西太平洋、ミクロネシアのトラック諸島は、第一次世界大戦後、日本の委任統治領となり、一時は〝内地〟から来た日本人だけで、人口三万五〇〇〇人を数えた。そして、太平洋戦争中は海軍の重要な根拠地となり、「武蔵」などの戦艦も碇をおろしたが、昭和一九年、米軍の総攻撃を受けて島は壊滅した。

それから二三年、アメリカの信託統治領となったトラック諸島で、トラック人たちへの英語教育を監督する、国連信託統治区英語教育指導管理官、H・W・クラウチは、島に残る日本時代の痕跡について、日本の新聞に寄稿している（「トラック諸島の日本戦跡」上・下、「朝日新聞」五月一一・一二日）。

日本が島全体を整地して、巨大な「不沈空母」化したエッテン島の滑走路には、今はヤシなどが生い茂り、その中央には教室が二つだけの、小さな学校が建っている。

〝帝国海軍〟基地のあったデュブロン島付近は、「近代工業の成果ともいうべき艦船」たちの「大いなる墓場」となり、そこで、「トラック人たちは、時おり海中にもぐって火薬をとってくる。彼らはそれらを水中で爆発させて魚類を殺すのだが、自分の足や手もついでになくしてくることがある」。

また、当時、三〇代以上のトラック人は日本語が話せたが、トラック語になっている日本語として、クラウチは、チトーサ（自動車）、シンブン（新聞）、サッシン（写真）、センセイ（先生）、ビョーイン（病院）をあげている。日本時代にある程度進歩した技術を見てしまったトラック人たちは、アメリカの「平和部隊」が野天パン焼き釜の造り方などを教えに来ても、冷淡な態度しか示さなかったという。

一方、高度経済成長の道をひた走りつつある、現代の日本からの物資の流入ぶりもめざましい。ホンダやスズキのバイクやトランジスタラジオは、島の若者たちの憧れの的であり、兵舎を改造した島の商店には、日本製のさば缶、化粧品から赤味噌まで並び、島民は新鮮な魚が獲れるにもかかわらず、さば缶の方を好んだという。ビールも、〝本国〟アメリカのものより、日本製が好まれ、キリンビールは「グリーンビール」と呼ばれ、愛飲されている。

最後に、クラウチは、「モリ」という、トラック婦人と結婚した日本人開拓民の子孫が、島の各地で活躍し、今は亡き「モリ」老人を讃える碑が、日本時代「夏島」と呼ばれたデュブロン島にあると紹介している。

▲ミクロネシア連邦、トラック島の市場。　豊崎博光

一九六八年は心臓移植の歴史の中で、「第一期の隆盛期」と言うべき年となった。この一年のうちに世界各地で一〇一例の心臓移植が行われ、八月には日本でも札幌医科大学の和田寿郎教授が世界で三〇番目に宮崎信夫（一八）さんに移植を敢行、八三日間の生存を可能にした。当時患者の平均生存日数はせいぜい数日から一〇日であった。

心臓移植はその後成功率の低さゆえに一時的に停滞はしたものの、欧米では積極的に手術が行われ、一九九四年にはアメリカだけでも二二九三例、五年以上の生存率も約七〇パーセントに高まっている。

一方、日本では和田教授が殺人罪で告訴され、不起訴になったものの、死の判定をめぐる論議が沸騰し、現在にいたるまで心臓移植は行われていない。

太田和夫教授は、日本における心臓移植について次のように語る。

「欧米と違い日本では、脳死を認め、心臓が完全に止まってない状態で移植することに抵抗を感じていますが、社会が成熟してくると、人間の希望は多様化します。脳死を認める人、認めない人、他人の心臓までもらって生きたくない人、もらっても生きたい人といろいろです。要は社会や家族が許す範囲で、それぞれの意思を尊重するシステム作りが整えば心臓移植への理解も高まると思います」

C・N・バーナード（1922〜）
南アフリカの心臓外科医。心臓の人工弁、バーナード・バルブを開発。一九六七年に、世界初の心臓移植を試みたことで一躍有名に。

▲昭和43年9月5日、宮崎信夫さんは車椅子で日光浴するほどの回復ぶりを示した。しかし、10月29日、和田寿郎教授が上京中に容態が急変、呼吸不全により死亡した。　読売新聞社

往きて還らぬ

▲8月17日　新村出（90）
『広辞苑』の編纂で知られる言語学者。昭和31年文化勲章受章。比較言語学の提唱者で著書に『東方言語史叢考』。

▲10月16日　富田常雄（63）
小説家。昭和17年『姿三四郎』で脚光をあび、『刺青』『面』で直木賞受賞。映画化された小説の多いことで有名。

▲7月8日　ビビアン・リー（53）
イギリスの女優。『風と共に去りぬ』のスカーレット・オハラ役で世界的人気に。ほかに『欲望という名の電車』など。

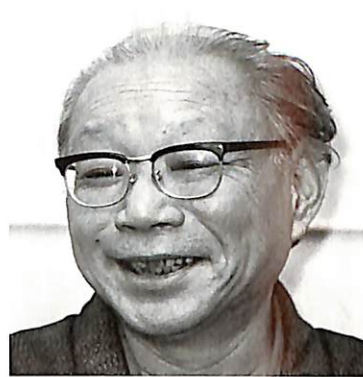
▲2月22日　柳原白蓮（81）
炭鉱王の夫を捨て学生との愛を貫いた情熱の歌人。戦後は平和運動にも力を注いだ。歌集『幻の華』など。

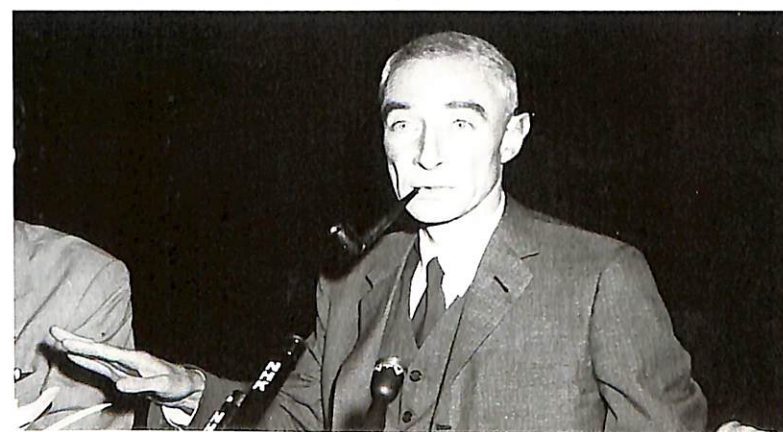
▲6月23日　壺井栄（66）
小説家。昭和10年『月給日』で文壇デビュー。代表作『二十四の瞳』は映画化され、長期上映記録を作った。

▲2月13日　鮎川義介（86）
実業家。戦前、日産コンツェルンの総帥として活躍。戦後は参議院議員となったが、次男の選挙違反で辞任。

◀7月17日　ジョン・コルトレーン（40）　アメリカの黒人テナーサックス奏者で、モダンジャズ界のリーダー。作品に『インプレッション』『至上の愛』など。

▼8月8日　藤原あき（69）
戦前、オペラ歌手・藤原義江との恋で知られ、戦後は資生堂美容部長に就任。昭和37年の参院選ではトップ当選、タレント議員の第一号となった。

▲6月29日　J・マンスフィールド（34）
1956年『女はそれを我慢できない』でセックス・シンボルとなったが、自動車事故で急死。

▲2月14日　山本周五郎（63）
小説家。大衆小説の第一人者で、すべての賞を辞退したことで知られる。代表作『樅ノ木は残った』『青べか物語』。

▲10月17日　愛新覚羅溥儀（61）
清朝最後の皇帝で3歳で第12代皇帝に即位。1911年の辛亥革命で退位、のちに戦犯として服役。著書に『わが半生』。

▲2月18日　J・R・オッペンハイマー（62）　アメリカの理論物理学者。第2次大戦中は原爆製造に参加したが、戦後、水爆開発に反対し公職を追放された。

週刊 YEAR BOOK 日録20世紀

第17号 6月3日(火)発売 毎週火曜日発売 講談社 定価560円 本体533円

1968［昭和43年］

●特集
雷雨の中に現金輸送車は消えた！「三億円事件」のミステリー／学生一〇万人の"怒り"が爆発「日大全共闘」史上最強のバリケードスト／若者が支持した「あしたのジョー」連載開始／六二万人の軍隊に蹂躙された「プラハの春」二三九日

●ニュース・ファイル
フォト＋日録で再現する366日…円谷幸吉が自殺（1月9日）／キング牧師暗殺される（4月4日）／"超高層"霞が関ビル開業（4月18日）／日本初の心臓移植（8月8日）／江夏、奪三振新記録達成（9月17日）／川端康成にノーベル文学賞（10月17日）／国際反戦デー、新宿騒乱事件に（10月21日）／日本隊、初めて南極点到達（12月19日）

●人物クローズアップ
コント55号、テレビを席巻！

●決定的瞬間
ロバート・ケネディ暗殺の悪夢

●美の出会い
横尾忠則の"サイケアート"

●女たちの肖像…宮城まり子と「ねむの木学園」／勝者・敗者…日本サッカー、銅メダル獲得／証言・あの日この日…高野悦子、吉岡実／20世紀博物館…福山自動車時計博物館（広島）／現場を歩く…寸又峡、「金嬉老事件」の記憶／外から見たNIPPON…チャスラフスカの決意

●ベストセラー…司馬文学の代表作『竜馬がゆく』／スターと名場面…沖山秀子「神々の深き欲望」／モノ語り'68…レトルト食品の先駆「ボンカレー」

■既刊好評発売中

バックナンバーは、お近くの書店でお求めください。創刊号のみ282円（税別）です。直接弊社にご注文の場合は、冊数に関係なく、送料200円のご負担となります。なお、代金と送料は先にお送りください。申込先　講談社読者サービス係　電話03-5395-3676

創刊号（2月18日号）1959［昭和34年］

第2号（2月25日号）1964［昭和39年］

第3号（3月4日号）1945［昭和20年］

第4号（3月11日号）1970［昭和45年］

第5号（3月18日号）1963［昭和38年］

第6号（3月25日号）1958［昭和33年］

第7号（4月1日号）1972［昭和47年］

第8号（4月8日号）1980［昭和55年］

第9号（4月15日号）1976［昭和51年］

第10号（4月22日号）1989［平成元年］

第11号（4月29日号）1960［昭和35年］

第12号（5月6日号）1961［昭和36年］

第13号（5月13・20日号）1962［昭和37年］

第14号（5月27日号）1965［昭和40年］

第15号（6月3日号）1966［昭和41年］

■今後の刊行予定

第18号（6月24日号）1969［昭和44年］

▶第19号（7月1日号）1941［昭和16年］6月17日発売
真珠湾攻撃●ゾルゲ事件●李香蘭、日劇で歌謡ショー●独ソ戦開始
▶第20号（7月8日号）1942［昭和17年］6月24日発売
ミッドウェー海戦●朝鮮人強制連行●戦争映画隆盛●ユダヤ人虐殺
▶第21号（7月15日号）1943［昭和18年］7月1日発売
学徒出陣●戦時下のグルメ●戦火に葬られた動物●「伊8号」帰投す
▶第22号（7月22日号）1944［昭和19年］7月8日発売
学童疎開●神風特攻隊●戦時下の科学技術開発●独軍降伏、パリ解放
▶第23号（7月29日号）1946［昭和21年］7月15日発売
東京裁判開廷●南海道大地震の衝撃●戦後闇市と戦災孤児
▶第24号（8月5日号）1947［昭和22年］7月22日発売
日本国憲法施行●「日曜娯楽版」スタート●新宿で額縁ショー
▶第25号（8月12日号）1948［昭和23年］7月29日発売
美空ひばりデビュー●福井に大地震●朝鮮半島、38度線の悲劇

ミニ事典
1967年のキーワード

病菌豚
血清ワクチン採取のため、豚コレラ菌を注射された豚。この病菌豚を、密売ブローカーがワクチン業者から一頭三〇〇円前後で仕入れ、食肉業者に数千円で販売していた。二月二三日、東京・品川署が密売ブローカー二人を逮捕。以降二ヵ月間で逮捕者は一九人におよんだが、売られたはずの七一〇〇頭のうち、五二二四頭しか回収できなかった。三月一七日にはプリマハムが、この豚を使ったとして営業停止処分を受けた。

▲精肉店は病菌豚のためパニックになった。

学校群制度
東京で都立高校の二～四校を一群として群単位で受験させ、合格者を群内の各校に配分した入学試験制度。特定校への集中や学校間格差の是正をめざして都教委がこの年二月七日、初の入試合格発表を行った。しかし、その後都立高校の有名大学への進学率が軒並みダウン、私立・国立高校を志望するものがふえるなどしたため、昭和五七年度に廃止された。

三次防
第三次防衛力整備計画の略。昭和四一年一一月、国防会議と内閣が大綱を決定、この年三月一三日に主要項目と経費を決定した。一、二次防で日本の防衛力の基盤を築いたのに対し、装備の更新と拡充をはかり、兵器の国産化に重きをおいた点が特徴だった。そのため、経費は二兆三四〇〇億円におよび、二次防のほぼ二倍の規模となった。

敦賀原発
商業用としては最初の原子力発電所。敦賀市にあり、原発としては東海村に次ぎ二番目。日本原子力発電敦賀発電所の略。この年五月二日に起工、昭和四五年三月、運転を開始した。原子炉は米GE社製で出力三二万二〇〇〇キロワット。四六年に付近の海からコバルト60が検出され、五六年には放射性廃液の流出など、放射能漏れ事故でも知られる。

うそつき商品
不当表示や誇大広告で消費者をあざむく商品。昭和三七年に不当表示防止法が公布されたが、馬肉入りコンビーフ、水飴入り蜂蜜、実際には二時間以上もかかる「徒歩八分」の不動産広告など、その氾濫は依然目にあまった。五月三一日、公正取引委員会は合成レモン飲料の「天然レモン」を不当とし、ポッカレモンなど六社に表示排除命令を下した。

朝日訴訟
生活保護の受給者・朝日茂さんが、現状の基準は憲法に照らして不当とした申し立てを、厚生大臣が却下したことに対し、昭和三二年、東京地裁に決定は憲法違反として起こした裁判。憲法二五条規定の生存権をめぐる訴訟として注目された。第一審は原告勝訴、二審の敗訴後、朝日さんは死亡。この年、五月二四日、最高裁が死亡者の訴訟の承継は認められないとしたため、裁判は終了した。

▲朝日さんの遺影を胸に最高裁に入る家族ら原告団。

資本自由化
外国資本の日本に対する直接投資の認可。貿易の自由化に続く日本経済の"国際化"の第二段階。六月六日、閣議で基本方針を決定、七月一日から実施された。外国企業による日本国内での子会社や合弁会社の設立や、日本企業の株式取得で経営参加ができるようになり、「第二の黒船来襲」と騒がれた。しかし、業界再編成が進み、かえって日本企業は国際競争力を強化した。

中流
社会学的には社会的地位や生活程度が中等の階層をさすが、経済企画庁が六月二七日に閣議に報告した四一年度『国民生活白書』の中で使われた意味は、相対的に自分の暮らしが他人より上でもなく下でもないと認識している人々のこと。『白書』では国民の約半数、東京の主婦の八七・九パーセントが自分をそう意識。この状態を七月一日付の「朝日新聞」は「繁栄する日本」と報じた。

蒸発
警察庁は七月一三日、全国一斉に蒸発者八万六一五四人の公開捜索を開始、各地に家出人、身元不明死体の相談所を設けた。六月には、行方不明になった婚約者を捜す女性を、記録映画的に描いた今村昌平監督の「人間蒸発」が公開され、モデルの女性が上映中止を要求しながら蒸発するなど、蒸発はふえ続けた。

国際クレジットカード
国外でも使えるクレジットカード。八月一〇日、日本クレジットビューロー（JCB）と米国のアメリカン・エキスプレス社が提携。発行契約を結ぶことで日本で初めて実現した。JCBは三和銀行と日本信販が昭和三六年に設立。前年に日本交通公社と富士銀行が出資して設立した日本ダイナーズ・クラブとともに、クレジット時代の先駆けとなった。

原理運動
韓国人の文鮮明を教祖とする世界基督教統一神霊協会の活動の総称。日本では昭和三五年頃から全国大学原理研究会を中心に学生などに共鳴者をふやした。「既存の宗教の統一をめざし、理想社会の実現をめざす」と主張、信者は布教活動や合宿生活で家に帰らなかったり、両親に寄付を求めるなどの行動が目立ち、九月一六日には信者の親たちが、原理運動対策全国父母の会を結成、反対運動を行った。

ポンド・ショック
イギリスが一一月一八日に行ったポンド切り下げによる国際経済の動揺。対ドル平均一四・三パーセントの切り下げとあわせ公定歩合を八パーセントに引き上げた。イギリスはこの超デフレ策で悪化する貿易収支の改善をはかったが、ポンドの国際通貨性が弱まり、世界的に株価が暴落、金相場が急騰した。日本でも東京株式市場の平均株価が、前週末比で戦後最大の六七円三〇銭も暴落した。

▲ポンド・ショックで金相場が急騰、有利な投資対象として一躍金ブームに沸いた。百貨店の売り場も活気づいた。

週刊YEAR BOOK／日録20世紀 1967 CONTENTS

●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター　山口至剛
表紙デザイン　山口至剛デザイン室＋渡邉裕一
本文レイアウト　デザインオフィス八起き
編集協力　有エービーシープレス　株カマル社　株コミュニケーションハウス・ケースリー　シド・プロ　有マックス　有マライカ　小原伸夫　鍵和田良輔　小松邦宏　佐野長成　張替政展　藤森雅弘　結城順一　吉田忠正

●写真協力
石井幸之助　イシイ・ヨシハル　北野賢　桑原史成　斎藤和欣　須原正親　豊崎博光　野上透　バーニー・ボストン　ハービー・山口　浜口タカシ　樋口健二　平野美津子　増渕宗一　モンキー・パンチ　米津孝　朝日新聞社　アシェット フィリパッキ ジャパン　オリオン・プレス　河北新報社　共同通信社　CORBIS-BETTMANN　時事通信社　ジャパン・プレス・フォト　新華社　中央公論社　中国通信　日刊スポーツ　パルコ出版　PPS　双葉社　Popperfoto　毎日新聞社　みくに出版　ユニフォト・プレス　読売新聞社　WWP　唐組　松竹　人力飛行機舎　タカラ　手塚プロダクション　東芝EMI　東宝　ハウス食品　理化学研究所

本誌収録写真につき、所在不詳などのため事前連絡ができないものがありました。お心当たりの方は、編集部までご一報ください。

週刊YEAR BOOK 日録20世紀 1967

●公害列島ニッポン!

6月10日号

第1巻第16号 通巻16号
平成9年6月10日発行(毎週火曜日発行)

編集人 近藤達士
発行人 丸本進一
発行所 発売所 株式会社 講談社
郵便番号112-01 東京都文京区音羽2-12-21
(編集)03・3944・1295 (販売)03・5395・3604

定価560円
本体533円

KIRIN 新鮮な明日へ

この国には、キリンラガービールがあります。

KIRIN BREWERY COMPANY, LIMITED
KIRIN BEER
LAGER BEER
キリンラガービール

味わい、それはラガー。

この国は知っている。時間や言葉を越えて、
わかり合えるものがあることを。
出会うたびに、
新しいよろこびを
手にできるものがあることを。
この国の人は、
キリンラガービールを飲んでいる。
一世紀を越える長い時間の中で、
ラガーのうまさは磨かれてきた。
ていねいな熟成がつくる、深いコクと、
豊かな味わい。
ビールを愛する人たちへ、
ラガーはうまさを語り続ける。

コクのある味わい
キリンラガービール

キリンラガービールは、長野オリンピックのオフィシャルビールです。

キリンビール株式会社

ビールは20歳になってから。
あきかんはリサイクルへ。

雑誌 23702-6/10
Ⓛ-2001/1/1
T1123702060567

印刷 凸版印刷株式会社 製本 本村製本株式会社